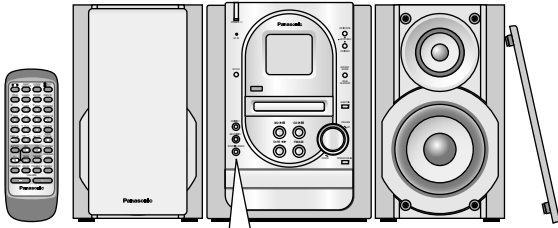
Panasonic®

MD ステレオシステム

取扱説明書

品番　**SC-PM27MD**

デモ機能 ***パネル表示の変化について***

電源コードをコンセントに差し込むと、パネル表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**デモ（デモンストレーション）機能**と呼びます。

お買い上げ時は、デモ機能が「入」に設定されています。デモ機能を「入」のままにしておくと、電源を「切」にしてもパネル表示は全消灯せず、デモ機能が働きます。

■デモ機能を「切」にするには

STOP ■/–DEMO

デモ機能動作中に
“ DEMO OFF ”と表示するまで押し続ける

DEMO OFF

押し続けるたびに
DEMO OFF（切）⇄ DEMO ON（入）

本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。時計合わせの方法については、「時計を合わせる」（11 ページ）をご覧ください。

このたびは、MD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT6568-S

本機の特長

MDLP 対応

本機はMDの長時間録音用フォーマットMDLPに対応しています。
今までのMDでは、ATRAC(アトラック)(Adaptive(アダプティブ) TRansform(トランスフォーム) Acoustic(アコースティック) Coding(コーディング))という音声圧縮技術を使って、音楽データを約1/5に圧縮してMDに記録していました。
MDLPは、ATRAC 3という音声圧縮技術を使うことで、音楽データを約1/10、約1/20に圧縮して記録できるようになり、ステレオで2倍(LP2モード)、4倍(LP4モード)の長時間録音が可能になりました。

高速録音(最大4倍速)

CDからMDへ最大4倍速での録音が可能です。ただし、常に4倍速による録音になるわけではありません。CDの内側と外側ではこの速度に差異が生じます。このため、74分のディスクでは、約23分で録音が完了します。
なお、一度CDからMDへ高速録音した場合、録音を開始した時点から約74分間は、著作権保護のため、同じ曲を高速で録音することはできません。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

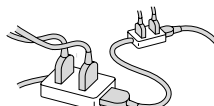
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

抜き差しは電源プラグを持つ

- コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

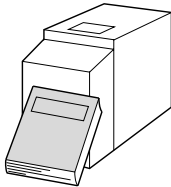
異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

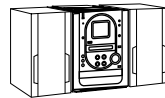
- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

- 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

- 付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

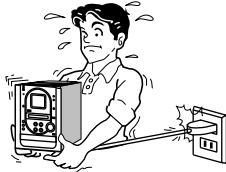
⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

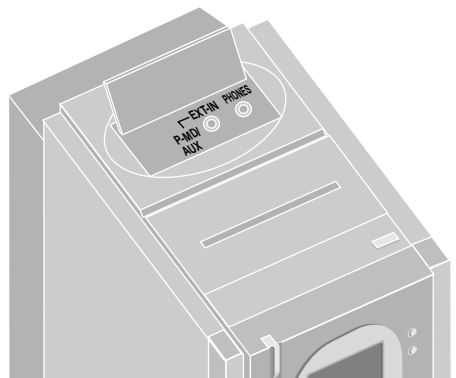
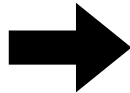
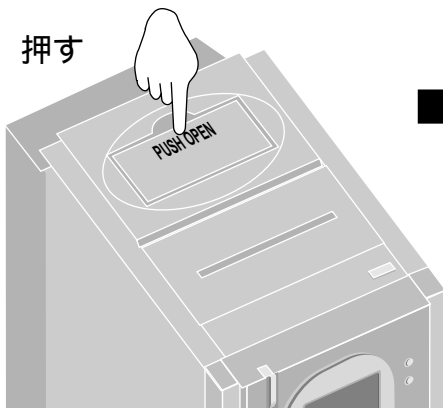
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

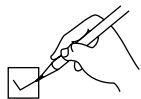
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

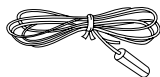
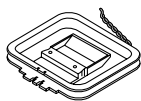
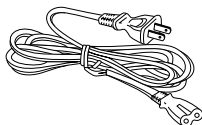
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

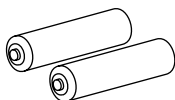
天面のふたの開けかた

本体天面の“ EXT-IN ”、“ PHONES ”の各端子を使うときはふたを開けてください。

お願い

- ほこりが入ると誤動作の原因になるため、使用しないときは、ふたを閉めておいてください。

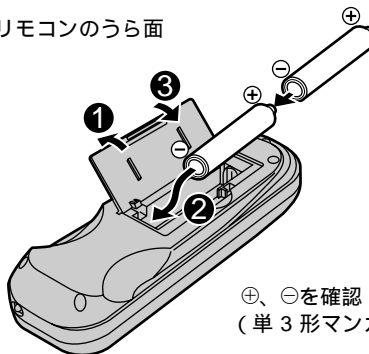
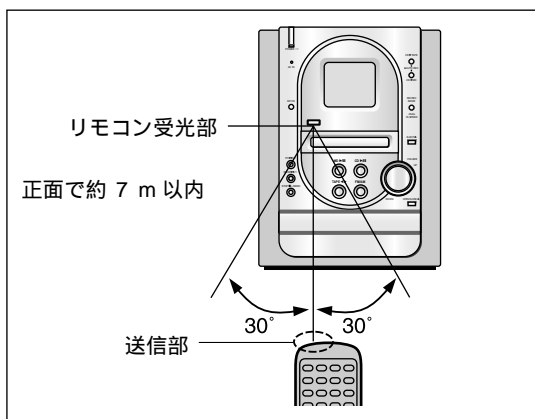
付属品の確認

接続の前に、まず付属品を確かめてください。

☐ FM 簡易型アンテナ ....1 本
（品番 RSA0007-L）

☐ AM ループアンテナ ....1 本
（品番 N1DAAAA00001）

☐ 電源コード ....1 本
（品番 RJA0012-K）

☐ リモコン..1 コ
（品番 EUR648108）

☐ リモコン用単 3 形乾電池............2 本

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
  カッコ（　　）内は、買い替え時の品番です。

リモコンの準備

乾電池（付属）の入れかた

リモコンの使いかた

■使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

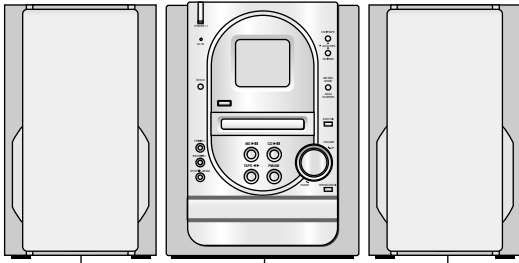
■故障防止のために

- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

設置

スピーカーは、右・左とも、同じ形です。
どちらに置いてもかまいません。

スピーカー（SB-PM27MD） センターユニット（SA-PM27MD） スピーカー（SB-PM27MD）

より良い音響効果を得るために

- 床や壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 平らで安定した場所に設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。

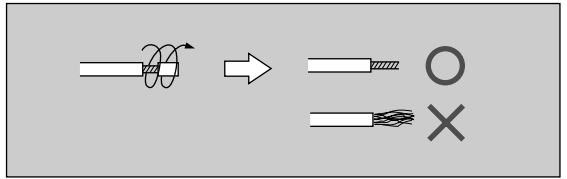
お願い

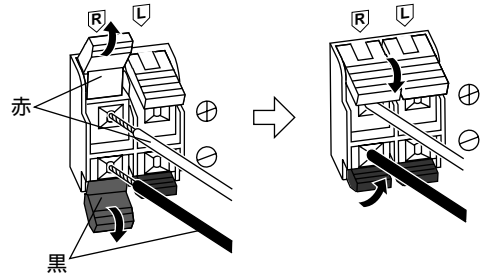
- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
  本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の演奏音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- **スピーカーコードの⊕と⊖をショートさせないでください。**
  故障の原因になります。
- **本機のスピーカーは防磁設計ではありません。**
  テレビやパソコンなどの近くに置く場合は、10 cm 以上離してください。
- **本体とスピーカーは放熱効果維持のため、1 cm 以上離してください。**
- **大きな音量で連続使用しないでください。**
  スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- **通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）**
  - 音がひずんだとき
  - レコードプレーヤーのハウリング音や FM 放送の局間ノイズ、発振器やテストディスクなど大きな振動信号が連続して加わるとき
  - 音質を調整するとき

お知らせ

電源を切るときは、音量を下げておくことをおすすめします。（次に電源を入れたとき、急に大きな音が出ることがあります。）

接続

準備：
スピーカーコードの先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

❶ スピーカーコード

端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。
誤った接続をすると故障の原因になります。

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ／ AM ループアンテナは必ず接続してください。
接続しないと放送局を受信できません。

❷ FM 簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて(➡ 19 ページ)、雑音の少ない位置で、壁や柱に止めます。

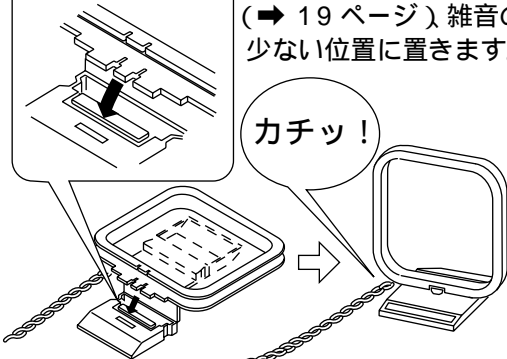
テープで止める

❸ AM ループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて(➡ 19 ページ)、雑音の少ない位置に置きます。

溝に差し込む

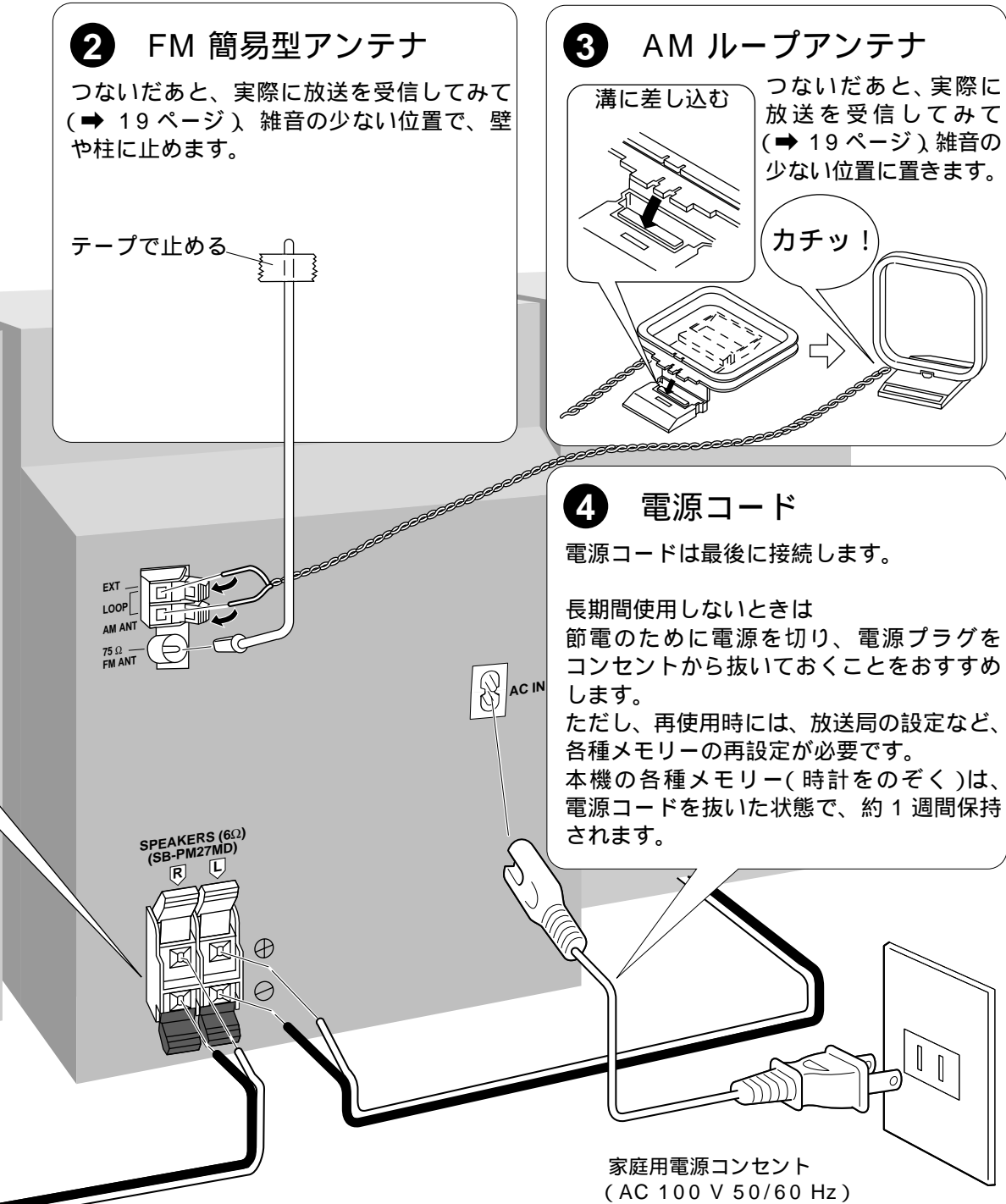
カチッ！

EXT
LOOP
AM ANT
75 Ω
FM ANT

❹ 電源コード

電源コードは最後に接続します。

長期間使用しないときは
節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、再使用時には、放送局の設定など、各種メモリーの再設定が必要です。
本機の各種メモリー（時計をのぞく）は、電源コードを抜いた状態で、約 1 週間保持されます。

AC IN

SPEAKERS (6Ω)
(SB-PM27MD)
R
L

家庭用電源コンセント
（AC 100 V 50/60 Hz）

オートオフ機能

リモコンのみ

電源の切り忘れを防ぎます。
CD、MD、テープの演奏を停止し、ボタン操作がない状態が 10 分続くと、自動的に電源が切れます。
オートオフ機能を働かせるには、必ずデモ機能を「切」にしてください。

“ AUTO OFF ”が表示されるまで、押し続ける

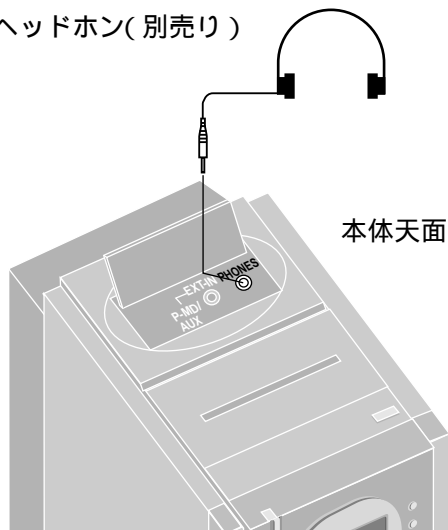
■ **解除するには**

もう一度、[SLEEP – AUTO OFF] を押し続け、表示を消す。

お知らせ

- 一度設定しておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
- MD、CD、テープモードでのみ設定できます。
- MD、CD、テープモード以外にすると、“ AUTO OFF ”表示が消えますが、設定の内容は記憶されています。（MD、CD、テープモードにすると表示が戻ります）

ヘッドホンで聞く

まず、天面のふたを開けてください。
(➡ 6 ページ)

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
- 推奨品：　RP-HT530、RP-HT242（ともに別売り）

別売り品の品番は、2002 年 3 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

時計を合わせる（24 時間表示） リモコンのみ

例： 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる。

押す
電源が入ります。

CLOCK/ TIMER

押して、“ CLOCK - - : - - ”を選ぶ

押すたびに
CLOCK → ◴ PLAY → ◴ REC → 元の表示

REW/ ▐◀◀/∨ または ▶/ FF ∧/▶▶▌

10 秒以内
押して、時計を合わせる

CLOCK 16:25

- 押し続けると時刻表示が連続して変化します。
- 元の表示に戻ったときは、1つ前の手順『“ CLOCK - - : - - ”を選ぶ』からやり直してください。

CLOCK/ TIMER

時報に合わせて押す

CLOCK 16:25

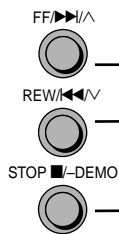
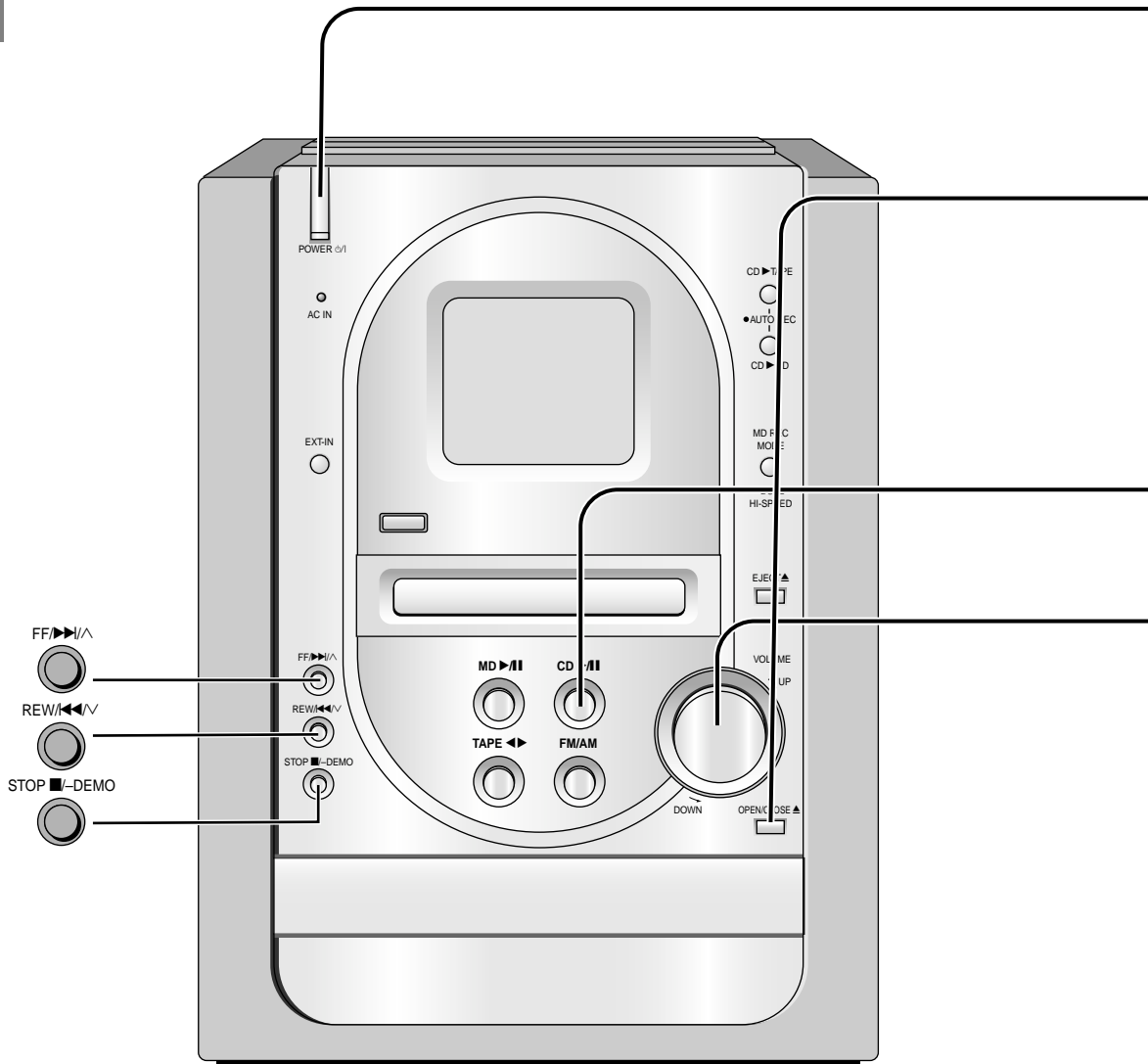
時計合わせが完了し、元の表示に戻ります。

お知らせ

- 本機の時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。

ＣＤを聞く

FF/▶▶I/∧

REW/I◀◀/∨

STOP ■/–DEMO

リレープレイ

ＣＤ　ＭＤ　テープ

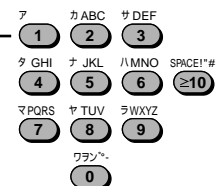
の順で再生するには

停止中に、" RELAY "が表示されるまで、[CD ▶/II]を押し続ける

■解除するには

演奏中に[STOP ■/― DEMO]を押す

お知らせ

- ＣＤ、ＭＤでリピートモードが設定されている場合、リピートモードは解除されます。(➡ 25、35 ページ)
- ＣＤ、ＭＤでプログラム、ランダム、１ソング、１グループモードが設定されている場合、設定されているモードで再生します。(➡ 24、25、35 ページ)
- テープのリバースモードが⊂⇄⊃に設定されている場合、⇄⊃になります。(➡ 17 ページ)

はじめて CD を使用する場合は、53 ページ「CD について」をお読みください。

CDを聞く

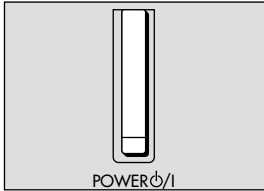
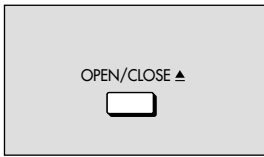
1

POWER⏻/I

押す

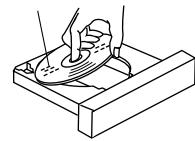
電源が入ります。

2

OPEN/CLOSE ▲

押してトレイを開け

CD を入れる

閉めるには、もう一度押す。
CD モードになっているときは、
曲数、総演奏時間が表示されます。

ラベル面を上に

曲数　総演奏時間

CD 17 64:34

3

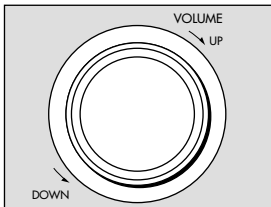
押す

1 曲目から最終曲まで順に演奏して、自動停止します。

演奏中の曲番　演奏経過時間

CD 1 0:01

4

回して

音量を調節する

VOL-48dB

- - dB（最小）　0 dB（最大）

■ **途中で止めるには**

STOP ■/–DEMO

押す

■ **一時停止するには**

CD▶/II

押す

（再開するには、もう一度押す）

■ **曲を前後にとび越すには（スキップ）**

REW/⏮/∨　FF/⏭/∧

押す

■ **早送り・早戻しするには（サーチ）**

REW/⏮/∨　FF/⏭/∧

演奏（または一時停止）中に、押し続ける

■ **CD を取り出すには**

OPEN/CLOSE ▲

押す

（電源「切」時に押すと、電源が入る）

■ **好みの曲から聞くには（ダイレクトプレイ）**

リモコンのみ

ア 1　カABC 2　サDEF 3
タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6　SPACE!"# ≥10
マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9
ワヲン゛゜- 0

押す

選んだ曲から順に再生します。

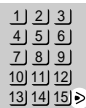
- 10 以上の曲番を選ぶには

（例）曲番 24

CD

■“ ⊳ ”と表示されたら

使用中の CD に 16 曲以上入っていることを示します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10 11 12
13 14 15 ⊳

- すでに CD が入っているときには、手順 3 から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

CD-R と CD-RW の再生について

CD-DA フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

MD を聞く

EJECT ▲

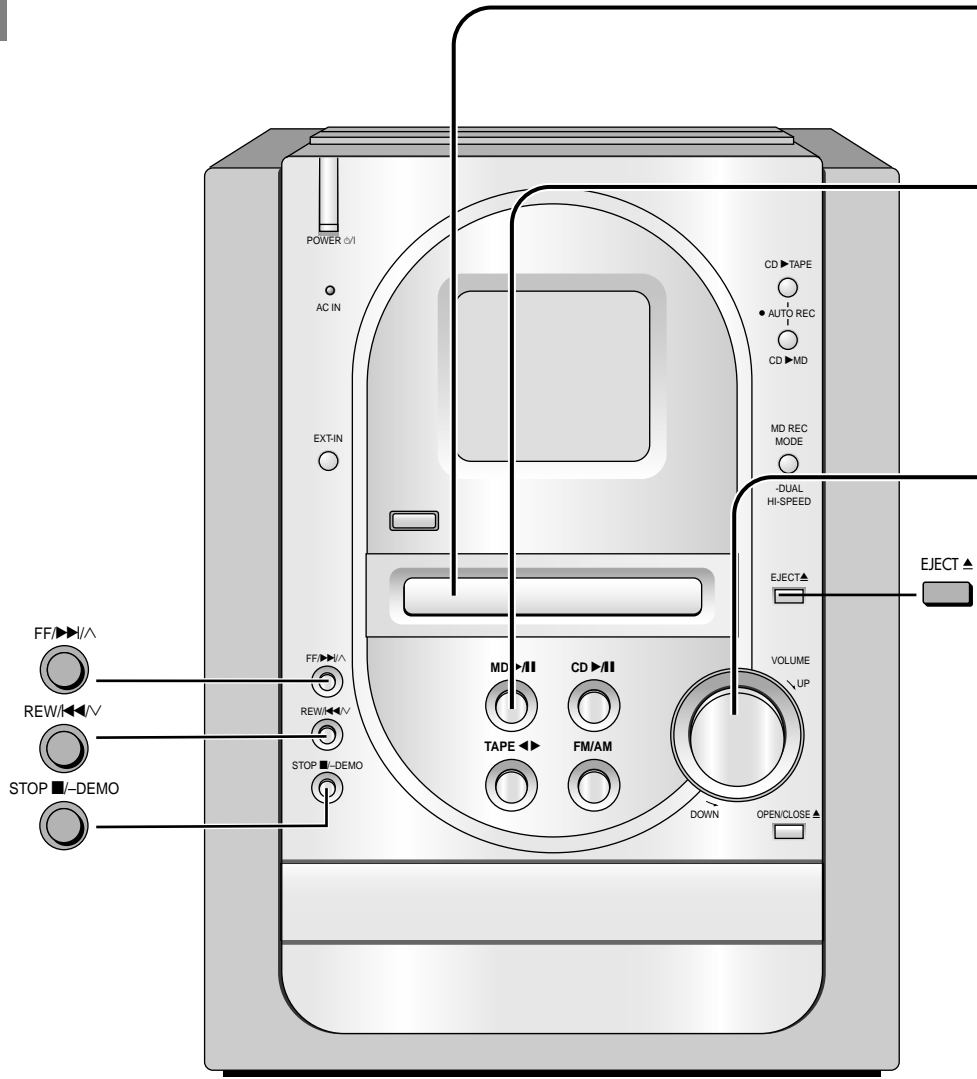
FF/▶▶I/∧

REW/I◀◀/∨

STOP ■/–DEMO

MD ▶/II　CD ▶/II

TAPE ◀▶　FM/AM

VOLUME

リレープレイ

MD　テープ　CD

の順で再生するには

停止中に、“ RELAY ”が表示されるまで、[MD ▶/II] を押し続ける

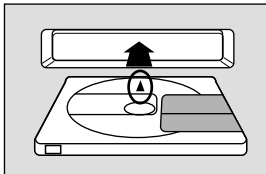
■解除するには

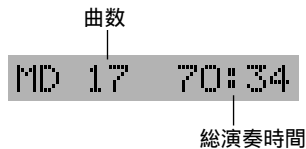
演奏中に [STOP ■/– DEMO] を押す

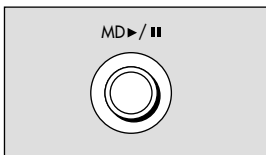
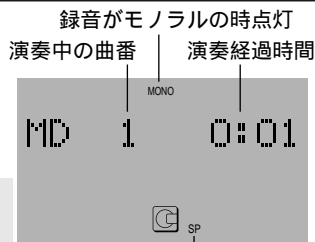
お知らせ

- CD、MD でリピートモードが設定されている場合、リピートモードは解除されます。(➡ 25、35 ページ)
- CD、MD でプログラム、ランダム、1 ソング、1 グループモードが設定されている場合、設定されているモードで再生します。(➡ 24、25、35 ページ)
- テープのリバースモードが ⊂⇄⊃ に設定されている場合、⇄⊃ になります。(➡ 17 ページ)

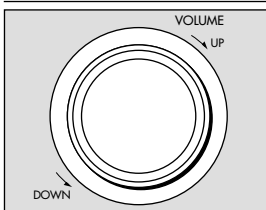
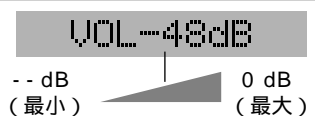
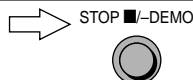
はじめて MD を使用する場合は、54 ページ「MD について」をお読みください。

1

録音済み MD を入れる

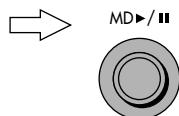
自動的に電源も入ります。
MD モードになっているときは、曲数・総演奏時間、ディスクタイトルが表示されます。

2

押す

１曲目から最終曲まで順に演奏して、自動停止します。

SP:演奏中の曲が通常録音モードで録音されている。
LP2:演奏中の曲が長時間（2 倍）録音モードで録音されている。
LP4:演奏中の曲が長時間（4 倍）録音モードで録音されている。

3

回して

音量を調節する

■ 途中で止めるには

押す

■ 一時停止するには

押す
（再開するには、もう一度押す）

■ 曲を前後にとび越すには（スキップ）

押す
停止中に押し続けると、グループスキップ（➡ 35 ページ）になります。

■ 早送り・早戻しするには（サーチ）

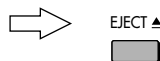
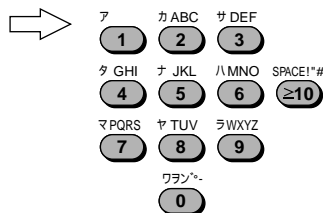
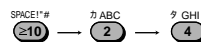
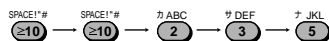
演奏（または一時停止）中に、押し続ける

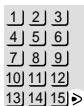
■ MD を取り出すには

押す
（電源「切」時に押すと、電源が入る）

■ 好みの曲から聞くには（ダイレクトプレイ）

リモコンのみ

押す
選んだ曲から順に再生します。

- 10 以上の曲番を選ぶには
  （例）曲番 24
  ≧10 → 2 → 4
  MD 2-
- 100 以上の曲番を選ぶには
  （例）曲番 235
  ≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5
  MD --

■“ ⊳ ”と表示されたら
使用中の MD に 16 曲以上入っていることを示します。

1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / 10 11 12 / 13 14 15 ⊳

- すでに MD が入っているときには、手順 2 から行うと、自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

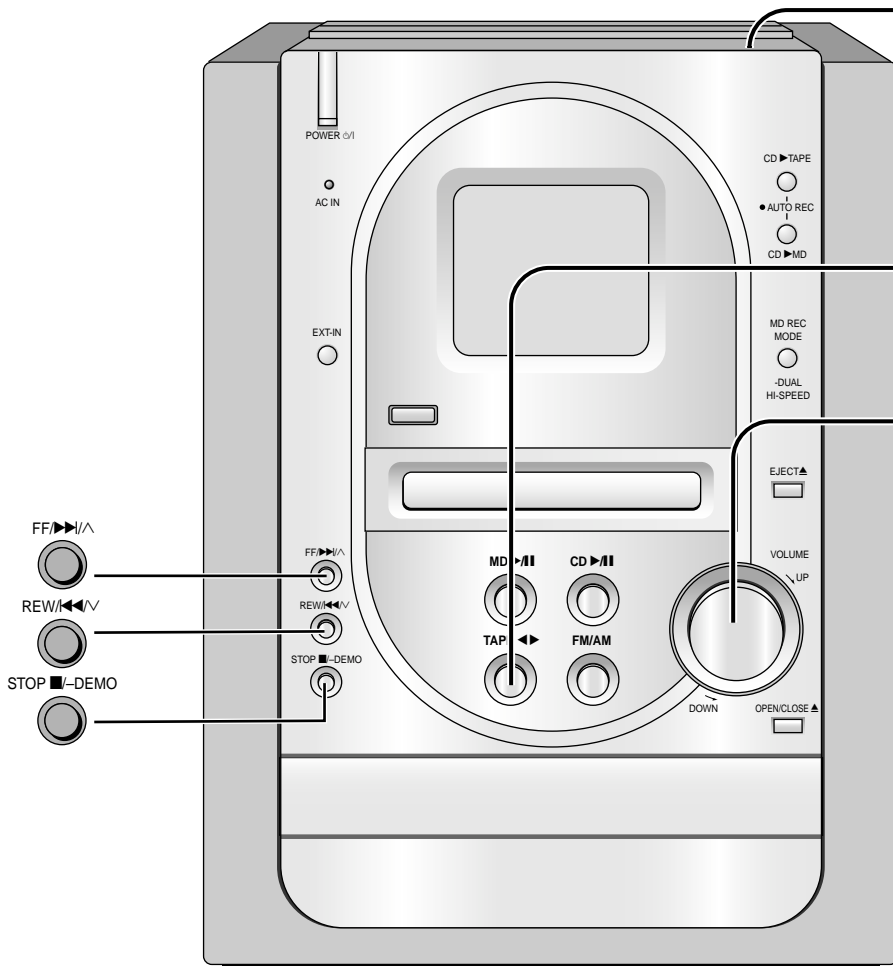
テープを聞く

演奏できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	○

● テープの種類は自動的に判別されます。

FF/▶▶I/∧

REW/I◀◀/∨

STOP ■/–DEMO

リレープレイ

テープ　CD　MD

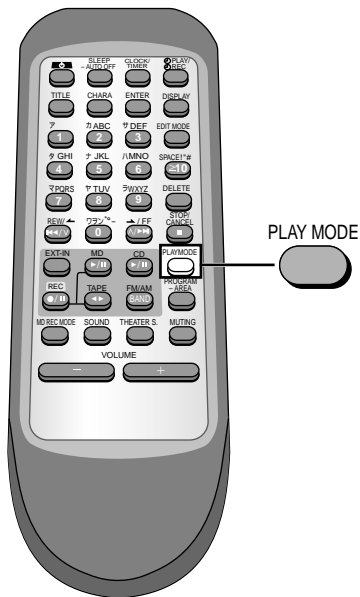
の順で再生するには

停止中に、“RELAY”が表示されるまで、[TAPE ◀▶]を押し続ける

■解除するには

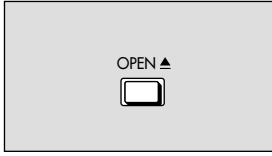
演奏中に[STOP ■/ー DEMO]を押す

お知らせ

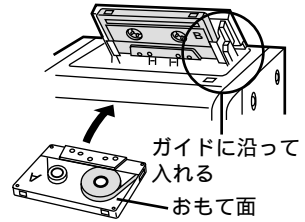
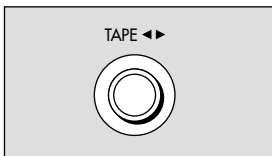
● CD、MD でリピートモードが設定されている場合、リピートモードは解除されます。（➡ 25、35 ページ）
● CD、MD でプログラム、ランダム、1 ソング、1 グループモードが設定されているときは、設定されているモードで再生します。（➡ 24、25、35 ページ）
● テープのリバースモードが ⊂⊃ に設定されている場合、⊃ になります。（➡ 17 ページ）

はじめてテープを使用する場合は、55 ページ「テープについて」をお読みください。

準備：テープのたるみを取る。

テープを聞く

1

押してホルダーを開け
（自動的に電源が入ります）

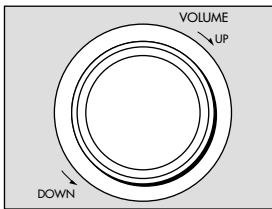
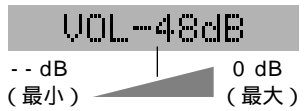
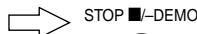
テープを入れる

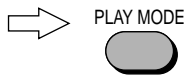
手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面“ FWD▷ ”になります。

2

押す

演奏が始まります。
FWD▷: おもて面から
◁REV: うら面から

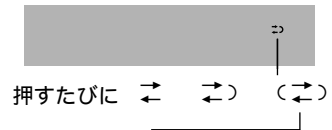
押すたびに
◁REV ⇄ FWD▷

3

回して

音量を調節する

■ 途中で止めるには

押す

■ リバースモードを選ぶには リモコンのみ

押す

⇄: 片面だけ演奏して自動停止
⇄⊃: おもて面 → うら面を演奏して自動停止
⊂⇄⊃: 両面をくり返し演奏

押すたびに ⇄ → ⇄⊃ → ⊂⇄⊃

■ 曲を前後にとび越すには（テープ プログラム センサー Tape Program Sensor-TPS 機能）

演奏中に、押す

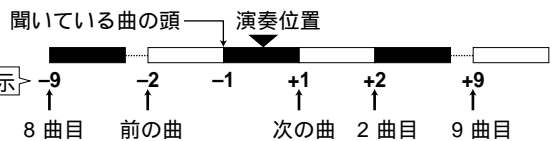
（次曲方向 9 曲、前曲方向 8 曲まで飛び越し可能）

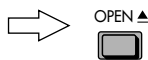
聞いている曲の頭　**演奏位置**

表示 −9　−2　−1　+1　+2　+9

8 曲目　前の曲　次の曲　2 曲目　9 曲目

■ 巻戻し・早送りするには

REW/⏮/∨　FF/⏭/∧

停止中に、押す

■ テープを取り出すには

押す

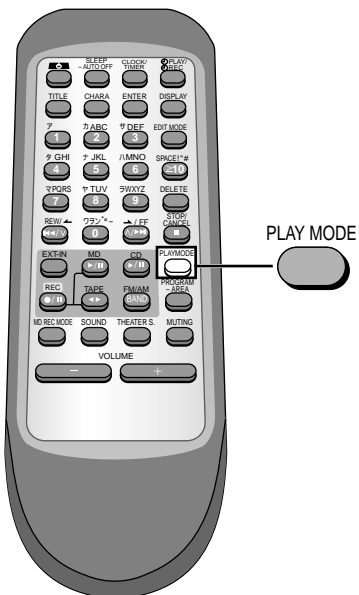
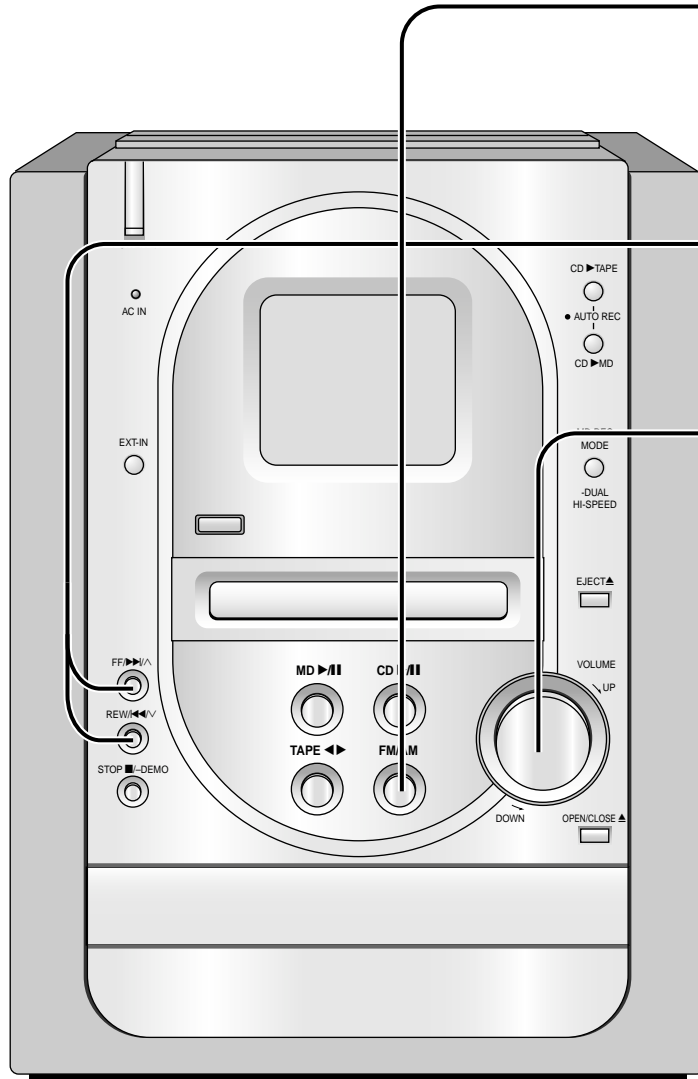
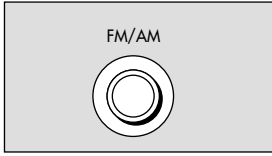
（電源「切」時に押すと、電源が入る）

- すでにテープが入っているときには、手順 2 から行うと、自動的に電源が入り、前に進んでいた方向で演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）

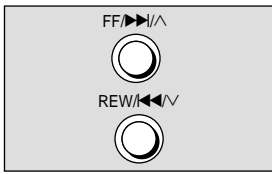
お知らせ

TPS 機能は、曲間の約 4 秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。

- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

1

押して
“ FM ”または“ AM ”を選ぶ
自動的に電源も入り、ラジオに切り換わります。
（ワンタッチプレイ）

FM 76.0 MHz
押すたびに FM ⇄ AM

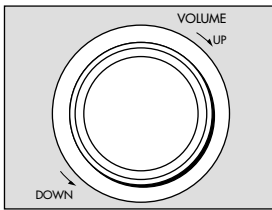
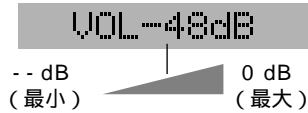
2

いずれかを押して
好みの放送局を受信する

STEREO:FM ステレオ放送を受信すると点灯
TUNED:正確に受信すると点灯

TUNED STEREO
FM 88.1 MHz

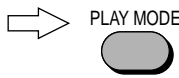
3

回して
音量を調節する

VOL-48dB
- - dB（最小） 0 dB（最大）

■ 自動選局するには（オートチューニング）

上記の手順 2 で押し続け、周波数が動き出したら指を離す
放送局を受信すると、止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは

PLAY MODE

“ MONO ”が表示されるまで、押し続ける
押し続けるたびに MONO ⇄ 表示なし

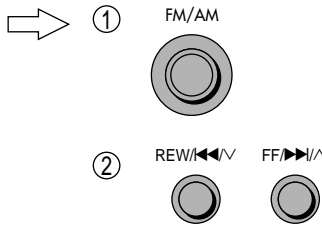
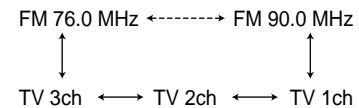
MONO
FM 88.1 MHz

通常は表示なしにしておきます。

■ TV 音声 1 ～ 3ch を聞くには

①

“ FM ”を選ぶ

②

押して、好みの TV 局を受信する

お知らせ

- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの接続をおすすめします。（➡ 53 ページ）
- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- 手順 2 で、チャンネルが切り換わる場合は、[PLAY MODE] を押して、“ MANUAL ”に切り換えてください。

使いかた

ＣＤをＭＤに録音する（シンクロ録音）

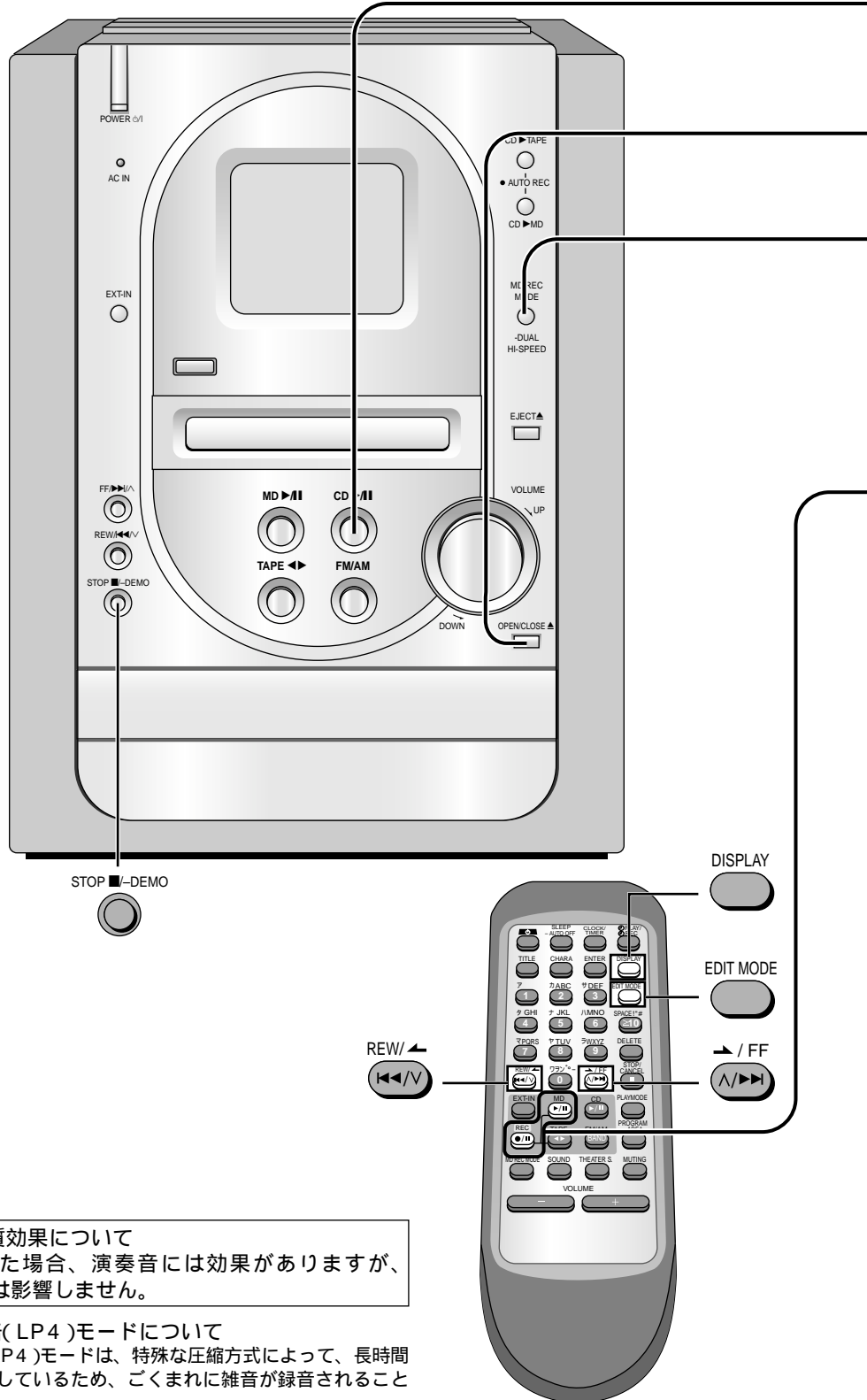
CDのデジタル信号をMDにデジタルで録音できます。
1枚のMDに異なる録音モード（SP、LP2、LP4）を混在させることができます。

STOP ■/–DEMO

DISPLAY

EDIT MODE

REW/

/ FF

録音時の音量・音質効果について
音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音されるMDには影響しません。

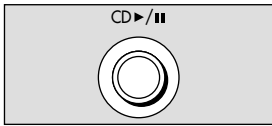
ステレオ長時間4倍（LP4）モードについて

ステレオ長時間4倍（LP4）モードは、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
音質を重視する録音を行うときは、ステレオ（SP）モードまたはステレオ長時間2倍（LP2）モードをおすすめします。

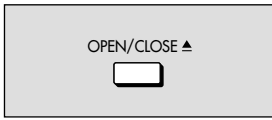
はじめて MD を使用する場合は、54 ページ「MD について」をお読みください。

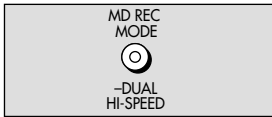
準備：録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
（MD モードのとき、何も録音されていない MD を入れると、“ BLANK DISC ”と表示されます）

CD を MD に録音する（シンクロ録音）

1

押して
（自動的に電源が入ります）
“ CD ”を選ぶ

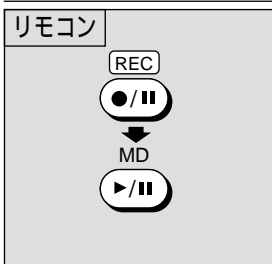
CD NO DISC

2

押してトレイを開け
CD を入れる
閉めるには、もう一度押す。

3

押して
SP/LP2/LP4 モードを選ぶ
モノラル録音モードはありません。

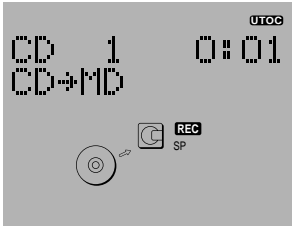
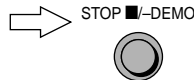
SP MODE ： 通常・ステレオ録音モード
LP2 MODE ：ステレオ長時間（2 倍）録音モード
（74 分ディスクで 148 分、80 分で 160 分録音可能）
LP4 MODE ：ステレオ長時間（4 倍）録音モード
（74 分ディスクで 296 分、80 分で 320 分録音可能）

4

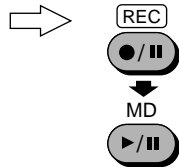
リモコン

押しながら
押す
1 曲目から録音が始まります。
“ UTOC ”と“ REC ”が点灯します。
（CD の演奏が終わると、MD も自動停止）

UTOC
CD 1 0:01
CD→MD
REC
SP

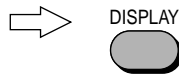
■ 途中で止めるには

STOP ■/–DEMO

押す
“ UTOC Writing ”点滅後、録音が完了

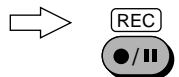
UTOC Writing

■ 一時停止するには

押しながら

押す（“ REC ”が点滅）
CD は一時停止し、MD は録音待機状態になります。
トラックマークがつきます。(再開するには、もう一度、同じ操作を行う)

■ MD の残り時間を知るには
SP/LP2/LP4 の各モードによって、残り時間の表示も変わります。

押す
残り時間が表示されます。
もう一度押すと、
- 録音中では
  MD の曲番とその曲の録音経過時間が表示されます。
- 停止中では
  MD の曲数と総演奏時間が表示されます。

MD Rem 30:46
MD の残り時間

■ 録音レベルを調整するには リモコンのみ
電源を切ると録音レベルは“ 0 dB ”に戻ります。

停止中に
押しながら

押す
押すたびに± 10 dB の範囲で調整できます。

■ 気に入った曲をすぐ録音するには（CD 追っかけ録音）
CD 演奏中に [●/❚❚ REC] を押しながら、[▶/❚❚ MD] を押す。
曲の始めに戻って演奏し、最後の曲まで終わると、MD は自動停止します。1 ソングプレイ(➡ 25 ページ) のときは、その曲を録音したあと、自動停止します。
トラックの途中から録音したい場合は、CD を一時停止し、[●/❚❚ REC] を押しながら、[▶/❚❚ MD] を押す。

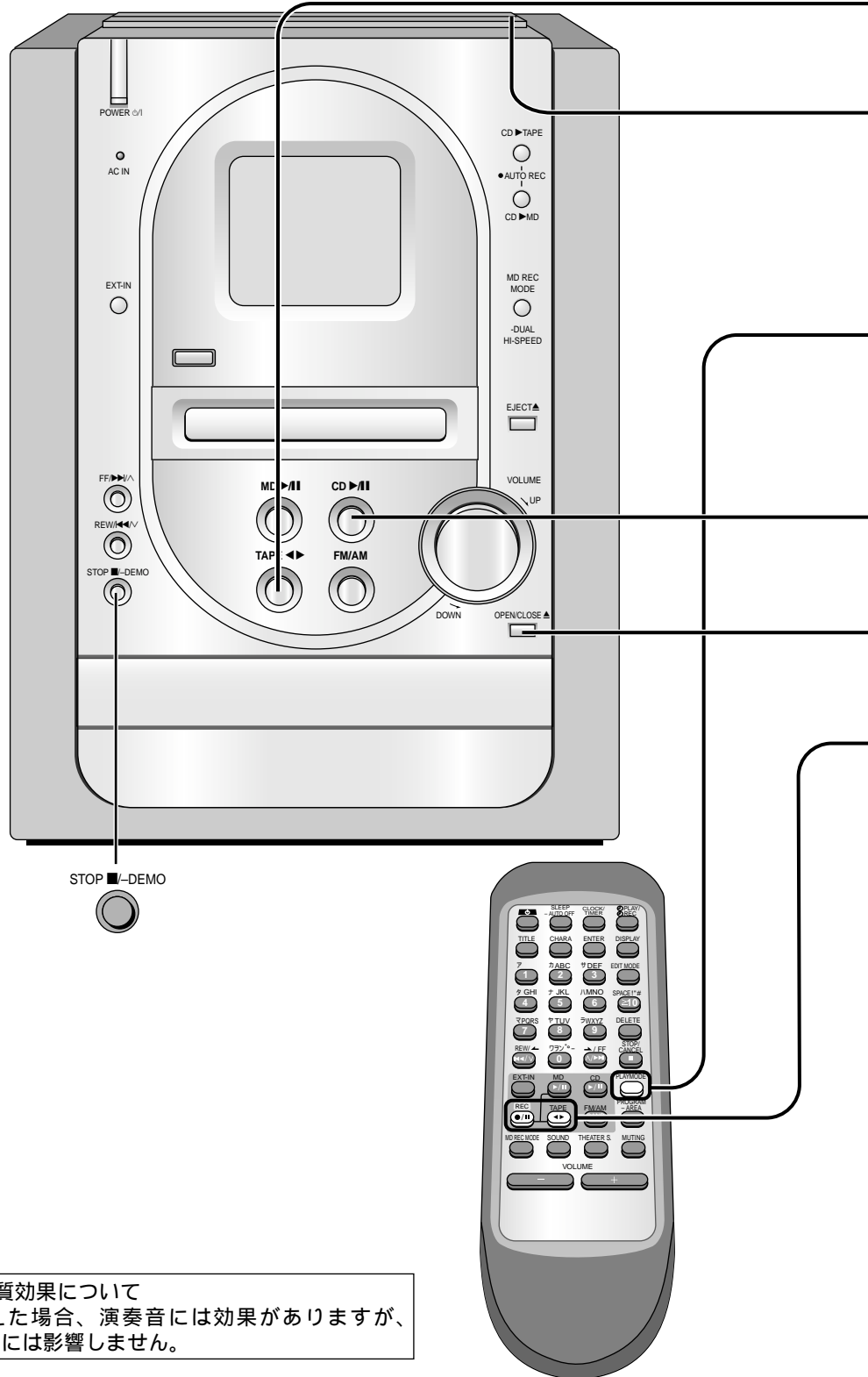
■ SCMS CAN'T COPY と表示されたら
CD-R や CD-RW から録音しようとすると、デジタル録音が制限されるために、このメッセージが出ることがあります。この場合、リモコンの [EDIT MODE] を押して、“ ANALOG-REC ”にすると、録音できます。
ただし、高速録音(➡ 28 ページ) はできません。

CD をテープに録音する

録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

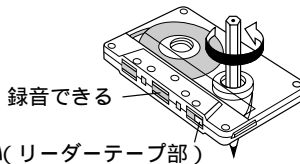
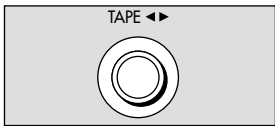
- テープの種類は自動的に判別されます。
- メタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

STOP ■/–DEMO

録音時の音量・音質効果について
音量・音質を変えた場合、演奏音には効果がありますが、録音されるテープ には影響しません。

はじめてテープを使用する場合は、55 ページ「テープについて」をお読みください。

準備：リーダーテープ部を巻きとる

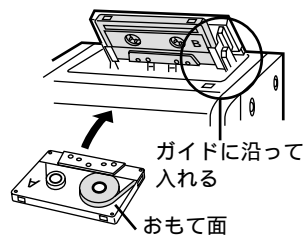
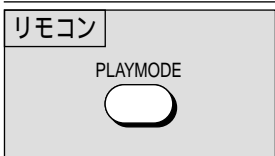
録音できる
録音できない（リーダーテープ部）

CDをテープに録音する

1

押して
（自動的に電源が入ります）
“ TAPE ”を選ぶ

NO TAPE

2

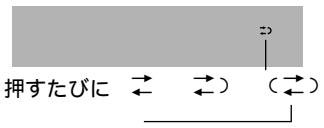
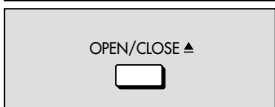
OPEN ▲

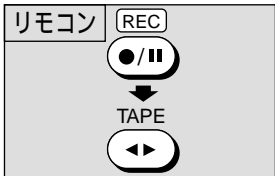
押してホルダーを開け
録音用テープを入れる
手でホルダーを閉める。
テープ走行方向は、自動的におもて面“ FWD ▷ ”になります。

3

押して
リバースモードを選ぶ
⇄：片面だけ録音して自動停止
⇄）、（⇄）：おもて面 → うら面を録音して自動停止

押すたびに ⇄ → ⇄） → （⇄）

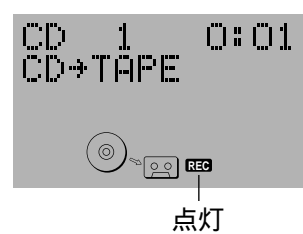
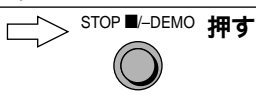
4

押して
“ CD ”を選ぶ

CD NO DISC

5

押してトレイを開け
CD を入れる
閉めるには、もう一度押す。

6

押しながら
押す
1 曲目から録音が始まります。
手順 3 で（⇄）を選んでいると、⇄）に変わります。
（CD の演奏が終わると、テープも自動停止）

■途中で止めるには

押す

■一時停止するには

押しながら

押す（“ REC ”が点滅）
CD は一時停止し、テープは録音待機状態になります。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

■ 気に入った曲をすぐ録音するには（CD 追っかけ録音）
CD 演奏中に[●/❚❚ REC]を押しながら、[◄► TAPE]を押す。
曲の始めに戻って演奏し、最後の曲まで終わると、テープは自動停止します。1 ソングプレイ(➡ 25 ページ）のときは、その曲を録音したあと、自動停止します。
トラックの途中から録音したい場合は、CD を一時停止し、[●/❚❚ REC]を押しながら、[◄► TAPE]を押す。

■ テープのうら面に録音するには
テープを入れたあと、下記の操作でテープ走行方向を切り換え、録音します。
① [TAPE ◄►]を 2 度押す。
② すぐに[STOP ■/ー DEMO]を押す。
テープの走行方向が“ ◁REV ”になります。
③ 上記の録音操作を行う。

ＭＤ ／ ＣＤ の聞きかた リモコンのみ

好みの曲を予約順に聞く（プログラムプレイ）

最大 24 曲まで予約できます。

または　押して、“ MD ”または“ CD ”を選び、

押す

押す

押して、曲番を選ぶ

■ 曲番 10 以上を選ぶには
[≥10] を 1 回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 24 のとき
≥10 → 2 → 4

■曲番 100 以上を選ぶには（MD のみ）
[≥10] を 2 回押してから、数字ボタンを押す。
例：曲番 235 のとき
≥10 → ≥10 → 2 → 3 → 5

この操作をくり返して、曲番を選ぶ

MD ▶/❚❚ または CD ▶/❚❚

押す
予約曲を順に演奏して、自動停止します。

■ 演奏を停止するには
[■ STOP/CANCEL] を押す。（予約内容は保持されます）

プログラムプレイについて

■ プログラムを解除するには
停止中に [PROGRAM –AREA] を押して“ PGM ”を消す。
（予約内容は保持されます）
● もう一度同じ内容で演奏するには
① [PROGRAM –AREA] を押して、“ PGM ”を表示させる。
② [▶/❚❚ MD] または、[▶/❚❚ CD] を押す。

■ 好みの曲をくり返すには
① 好みの曲をプログラムする。
②“ REPEAT ON ”が表示されるまで、[PLAY MODE] を押し続ける。（➡ 25 ページ）

■ 予約内容を確認するには
停止中に、[◀◀/∨ REW/ ◀] または [∧/▶▶ ▶ /FF] を押す。
押すたびに、曲番と予約順が表示されます。

■ 予約を追加するには
停止中に、数字ボタンを押して曲番を選ぶ。

■ 予約全曲を取り消すには
停止中に、[■ STOP/CANCEL] を押す。
“ PGM CLEAR ”が表示され、全曲の予約が取り消されます。ディスクを取り出した場合も解除されます。
特定の曲のみを取り消すことはできません。

■“ PROGRAM FULL ”と表示されたら
予約曲数が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上の予約はできません。

■ MD で予約曲の総演奏時間が“ −−：−− ”と表示されたら
予約時間が 250 分に達したことを示しています。ただし、続けて予約をすることができます。

お知らせ

- プログラムプレイ中のスキップは予約順に行われます。
- プログラムプレイ中のサーチは、MD の場合は予約順に行われ、CD の場合は演奏中の曲の中だけで行われます。
- プログラムプレイ設定中に MD の編集はできません。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

各曲を 1 回ずつ順不同に演奏します。

MD ▶/II または CD ▶/II **押して、“ MD ”または“ CD ”を選び、**

STOP/CANCEL ■ **押す**

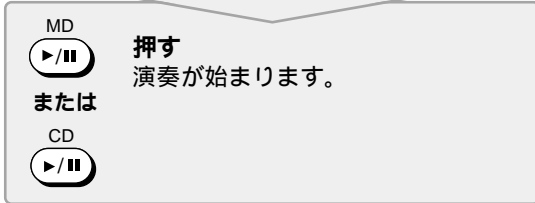
PLAYMODE **停止中に押して、“ RANDOM ”を選ぶ**

RANDOM

押すたびに
（元の表示）→ 1-SONG → 1-GROUP →RANDOM
（MD のみ）

※ 1-GROUP はグループ編集している MD でのみ表示されます。

MD ▶/II **押す**
または
CD ▶/II

演奏が始まります。

■ **解除するには**
停止中に、[PLAY MODE] を押し、“ RANDOM ”を消す。

■ **ランダムモードをくり返すには**
①“ RANDOM ”を選ぶ。
②“ REPEAT ON ”が表示されるまで、[PLAY MODE] を押し続ける。（➡ 下記）

お知らせ

- ランダムプレイ設定中に MD 編集はできません。
- ランダムプレイ中は、前の曲にスキップすることはできません。
- ランダムプレイ中にサーチすると、演奏中の曲の中だけで早戻し・早送りします。

演奏をくり返す（リピートプレイ）

PLAYMODE **“ REPEAT ON ”が表示されるまで、押し続ける**

REPEAT ON

■ **解除するには**
“ REPEAT OFF ”が表示されるまで、[PLAY MODE] を押し続ける。

1 曲を聞く（1 ソングプレイ）

好みの 1 曲のみ再生します。

MD ▶/II または CD ▶/II **押して、“ MD ”または“ CD ”を選び、**

STOP/CANCEL ■ **押す**

PLAYMODE **停止中に押して、“ 1-SONG ”を選ぶ**

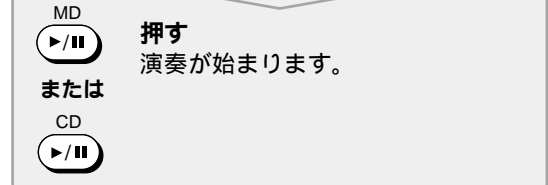
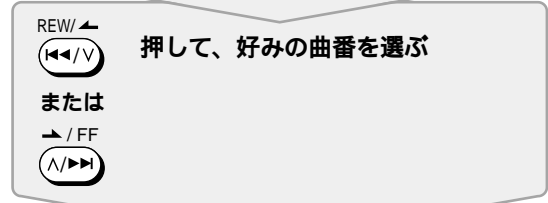
1-SONG

押すたびに
（元の表示）→ 1-SONG → 1-GROUP →RANDOM
（MD のみ）

※ 1-GROUP はグループ編集している MD でのみ表示されます。

REW/ ⏮/∨ または ∧/⏭ / FF **押して、好みの曲番を選ぶ**

MD ▶/II **押す**
または
CD ▶/II

演奏が始まります。

■ **解除するには**
停止中に、[PLAY MODE] を押し、“ 1-SONG ”を消す。

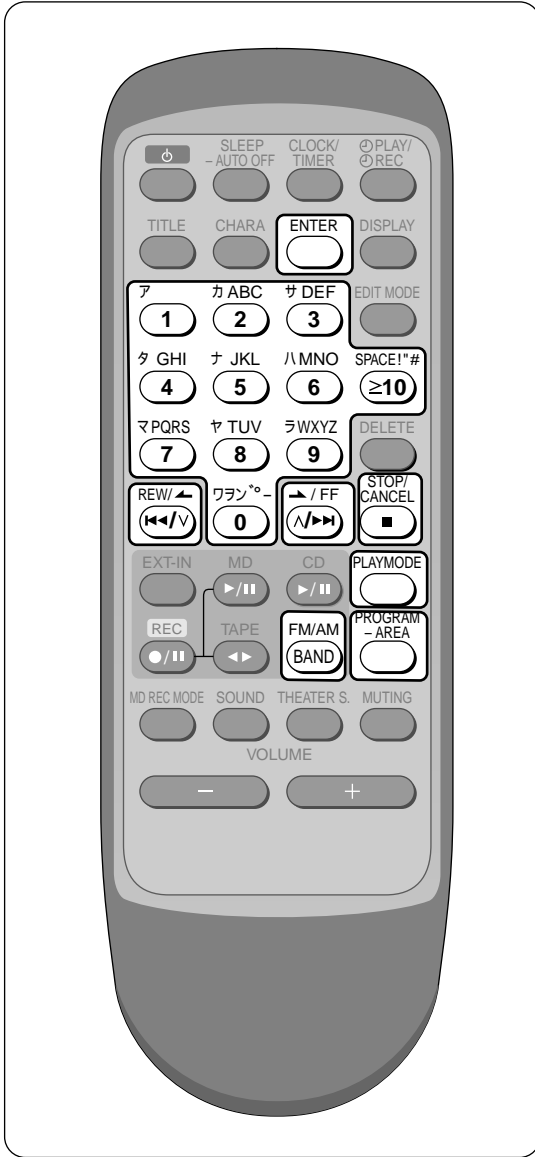
■ **数字ボタンを押して、曲番を選ぶこともできます。**
ダイレクトプレイ（➡ 13、15 ページ）

■ **1 曲をくり返すには**
①“ 1-SONG ”を選ぶ。
②“ REPEAT ON ”が表示されるまで、[PLAY MODE] を押し続ける。（➡ 左記）

お知らせ

- 1 ソングプレイ設定中に MD の編集はできません。

放送局を記憶させて聞く リモコンのみ

● 放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聞くことができます。
● FM、AM とも、15 局ずつ記憶させることができます。

記憶させる

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

準備：
[BAND FM/AM] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。どちらを選んでいても、一度の操作で両方とも設定されます。

■ 途中で解除するには
[■ STOP/CANCEL] を押す。
元の表示に戻ります。

■ 数字ボタンを押して、 エリア番号を選ぶこともできます。
10 以上のエリア番号を選ぶには
（例）24 ： ≧10 → 2 → 4

エリアバンク（2002 年 4 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、	21	大津	31	松山
2	青森		横浜、千葉、さいたま）	22	奈良	32	高知
3	秋田	12	甲府	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	13	松本	24	大阪圏	34	北九州
5	山形	14	静岡		（大阪、神戸、京都）	35	佐賀
6	仙台	15	名古屋圏	25	鳥取	36	長崎
7	福島		（名古屋、岐阜）	26	松江	37	大分
8	宇都宮	16	津	27	広島	38	熊本
9	水戸	17	新潟	28	山口	39	宮崎
10	前橋	18	富山	29	高松・岡山	40	鹿児島
		19	金沢	30	徳島	41	那覇
		20	福井				

好みの局だけ指定する（マニュアルメモリー）

たとえば、エリアバンク指定後の空きチャンネルに、好みの局を記憶することができます。

準備：

[BAND FM/AM] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。

PLAYMODE

押して、“ MANUAL ”を表示させる

MANUAL

押すたびに： MANUAL ⇆ PRESET

REW/ ⏶ (⏮/∨) または ⏵ / FF (∧/⏭)

押して、周波数を合わせる

PROGRAM – AREA

押す

FM 80.2 MHz
PROGRAM ch

PGM

“ PGM ”点滅中に押して、チャンネルを選ぶ

FM 80.2 MHz
PROGRAM ch10

チャンネル

10 以上のチャンネルを選ぶには

（例）12 ： ≧10 → 1 → 2

続けて記憶させるときは、2 つ前の手順「周波数を合わせる」に戻る

■ **途中で解除するには**

[PROGRAM –AREA] を押す。
元の表示に戻ります。

記憶させた放送局を聞く
（プリセットチューニング）

準備：

[BAND FM/AM] を押して、“ FM ”または“ AM ”を選ぶ。（TV 音声受信時は“ FM ”）

PLAYMODE

押して、“ PRESET ”を表示させる

PRESET

押すたびに： MANUAL ⇆ PRESET

REW/ ⏶ (⏮/∨) または ⏵ / FF (∧/⏭)

押して、チャンネルを選ぶ

FM 76.1 MHz
Inter FM

1

チャンネル

エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名が表示されます。

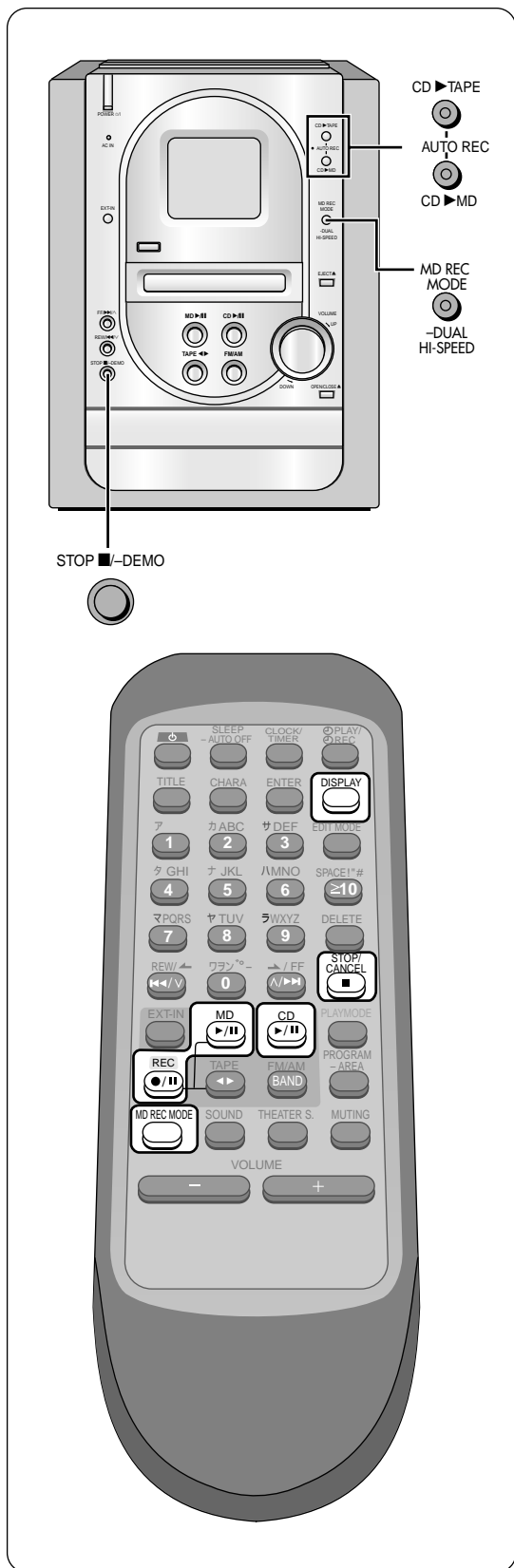
■ **数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶこともできます。**

10 以上のチャンネルを選ぶには

（例）12 ： ≧10 → 1 → 2

いろいろな録音

共通の準備：

CD トレイを開き、CD を入れる。(➡ 13 ページ)
(CD トレイは閉める)

CD を MD に高速 (最大 4 倍速) で録音する

CD から MD へ最大 4 倍速での録音が可能です。これにより、74 分のディスクなら約 23 分で録音が完了します。
ディスクや条件によっては、4 倍速にならない場合があります。CD-RW は 2 倍速になります。

準備：

① 録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
② ［MD REC MODE －DUAL HI-SPEED］を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

“ HIGH-SPEED ”が表示されるまで、押し続ける

押し続けるごとに
NORMAL-SPEED ⟷ HI-SPEED
（定速録音） （高速録音）

“ AUTO REC ”が表示されるまで、押し続ける

高速で丸録り（➡ 29 ページ）が始まります。

■ 録音を途中で解除するには

［STOP ■ /ー DEMO］を押す。
“ UTOC Writng ” の点滅後、録音が停止します。

■ リモコンで高速録音するには

① ［▶/❚❚ CD］を押して、“ CD ”を選び［■ STOP/CANCEL］を押す。
② ［MD REC MODE］を “ HIGH-SPEED ”が表示されるまで、押し続ける。
③ ［●/❚❚ REC］を押しながら、［▶/❚❚ MD］を押す。
高速録音が始まります。
この場合は、シンクロ録音になります。

お知らせ

- 高速録音モードを選ぶとプログラムプレイ、リピートプレイ、ランダムプレイは解除されます。
- 高速録音時は録音レベルを変えることはできません。
- 高速録音時は音声は聞こえません。
- 高速録音時では、CD の状態によって、音飛びや、MD にノイズが記録されることがあります。この場合、一度、CD を取り出し、きれいに拭いたあと定速録音を行うと改善される場合があります。

CD の全曲を MD に丸録りする

入力を CD に切り換え、CD 全曲を MD に録音します。

準備：
① 録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
② [MD REC MODE －DUAL HI-SPEED] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

“ AUTO REC ”が表示されるまで、押し続ける

録音が始まります。

■ 途中で解除するには

[STOP ■ /― DEMO] を押す。
“ UTOC Writing ”が点滅した後、録音が停止します。

■ MD の残り時間を知るには

[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ

- MD REC MODE が“ LP2 ”、“ LP4 ”のいずれかに設定されている場合、録音されたトラック全部をひとつのグループとして扱います。ただし、UTOC エリアに空きがない場合はグループになりません。
- 1 ソング、ランダム、プログラム、リピートプレイは解除されます。
- MD に空きがある状態で、MD に 1 曲も録音できない場合、“ NO REMAIN ”と表示されます。
- MD に 1 曲以上録音できても全曲の録音ができない場合、“ REMAINING SHORT ”と表示されます。この表示中に、[STOP ■/― DEMO] を押すと丸録りをキャンセルできます。SP/LP2/LP4 のモードを変えることで丸録りができる場合があります。

CD の全曲をテープに丸録りする

入力を CD に切り換え、CD 全曲をテープに録音します。おもて面の最後で曲が途切れた場合は、うら面にその曲を初めから録音します。

準備：
たるみをとった録音用テープを入れる。(➡ 23 ページ) AB 両面ともつめがあるものを使用してください。(➡ 55 ページ)

“ AUTO REC ”が表示されるまで、押し続ける

AUTO REC
CD→TAPE

- 自動的にテープを巻き戻し、約 10 秒間、無音で録音した後、1 曲目から録音が始まります。(必ずテープのおもて面から始まります。)
  録音済テープは上書き録音されます。
- リバースモードは自動的に⇄になります。

■ 途中で解除するには

[STOP ■ /― DEMO] を押す。

お知らせ

- 1 ソング、ランダム、プログラム、リピートプレイは解除されます。

高速録音の制限について

この製品の高速録音は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用していますので以下の制限があります。

■ この製品は、録音を開始した時点から 74 分間は、同じ曲を高速で録音することができないようになっています。

- 録音を途中で止めたときも、同じ曲は続けて高速で録音することはできません。
- たとえば 20 分間で録音が終わったときは、あと 54 分間は、その曲を高速で録音できません。(定速では録音できます。)

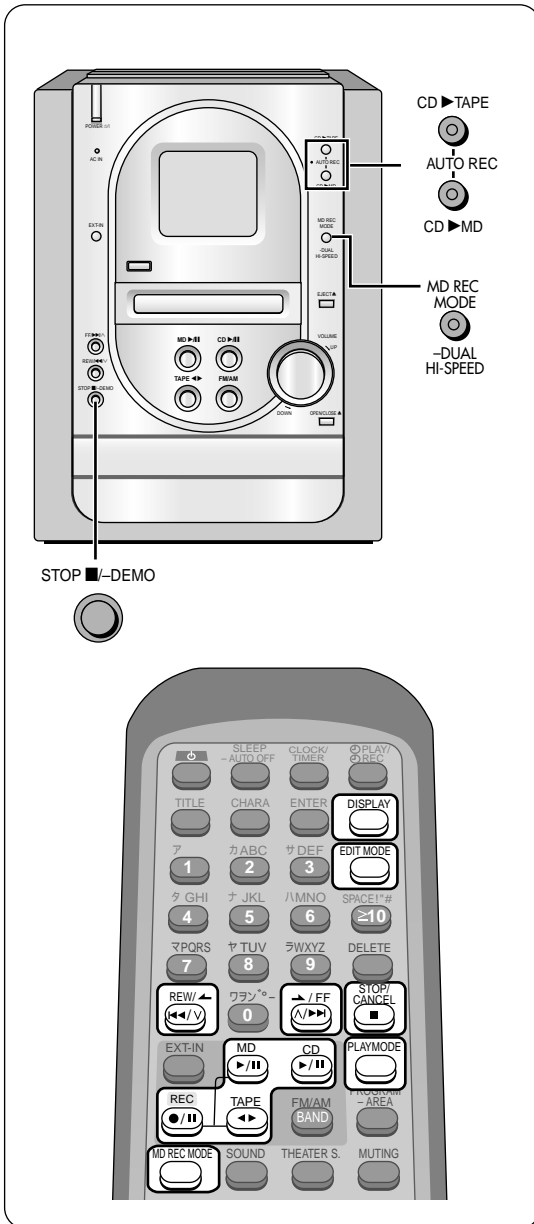
■ 一度に 50 曲まで録音できます。

- 高速録音を始めて、74 分以内に 50 曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から 74 分が経過するまで、51 曲目の録音はできません。
- 録音途中で 51 曲目になった場合、“ PLEASE WAIT ○○ min ”(○○は数字) が数秒間、点灯したあと、“ UTOC Writing ”が点滅し録音が終了します。

さらに高速録音しようとすると、本体表示部に“ PLEASE WAIT ○○ min ”(○○は数字) が数秒間、点灯します。
この場合は、○○ 分 (○○は数字) 経過してから高速録音してください。

いろいろな録音（つづき）

共通の準備：

- **CD を録音するときは**
  CD トレイを開き、CD を入れる。(➡ 13 ページ)（CD トレイは閉める）
- **ラジオを録音するときは**
  録音したい放送局を受信する。

CD の全曲を MD とテープに同時に丸録りする

CD の全曲を MD とテープに同時に録音できます。

準備：

① 録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
② たるみをとった録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。(➡ 23 ページ) 自動的におもて面から録音されます。（うら面に録音するときは ➡ 23 ページ）
テープは自動的には巻き戻しされません。必要なら、あらかじめ巻き戻しておいてください。
③ [MD REC MODE －DUAL HI-SPEED] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

録音が始まります。

■ 途中で止めるには

[STOP ■ /－ DEMO] を押す。
“ UTOC Writing ”が点滅した後、録音が停止します。

■ MD の残り時間を知るには

[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ

- テープのおもて面からうら面に切り換わるときに、録音が少し途切れます。
- MD ・テープどちらかの残り時間がなくなっても、もう一方は録音を続けます。
- MD とテープへの同時録音は CD からだけです。ラジオや AUX からはできません。
- 高速録音と組み合わせることはできません。

録音モードについて

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。録音中に [EDIT MODE] を押すと、“ TR-MARKING ”と表示され、その時点にトラックマークが付きます。

TURN BACK（ターン バック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

TIME MARK（タイム マーク）：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

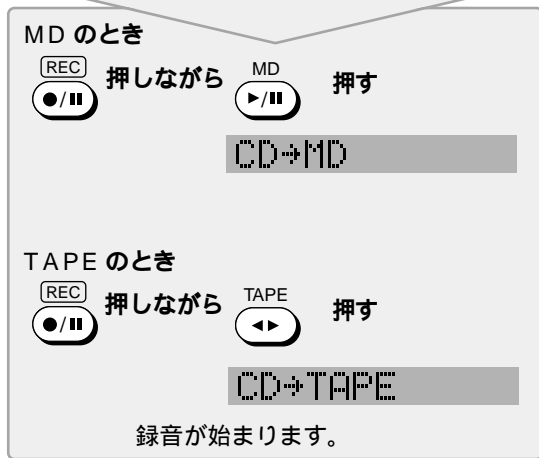
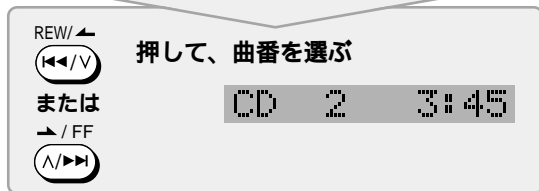
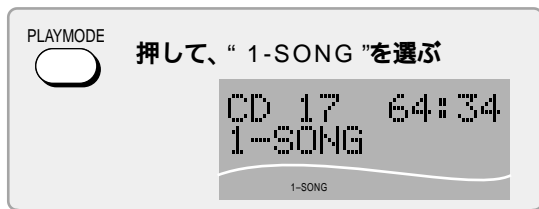
TURN/TIME（ターン タイム）：数秒前の音から録音し、5 分毎にトラックマークが自動的に付くモードです。

CD の 1 曲をねらい録りする

リモコンのみ

CD の好みの 1 曲を MD またはテープに録音します。

準備：

① 録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ) または、たるみをとった録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。(➡ 23 ページ)
② [▶/❚❚ CD]を押して、" CD "を選び [■ STOP/CANCEL]を押す。
③ (MD のみ)
[MD REC MODE]を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

■ **途中で止めるには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。
" UTOC Writing "が点滅した後、録音が停止します。

■ **MD の残り時間を知るには**
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

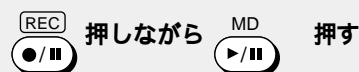
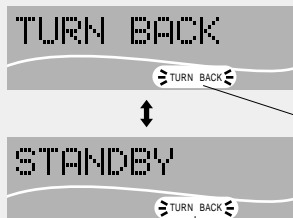
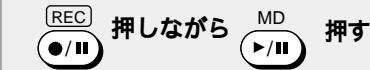
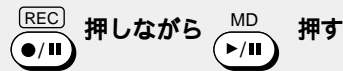
■ **1-SONG モードを解除するには**
[PLAY MODE] を押し、" 1-SONG "を消す。

■ **MD に高速録音するには**
① [PLAY MODE] を押して、" 1-SONG "を選ぶ。
②" HIGH-SPEED "が表示されるまで、[MD REC MODE] を押し続ける。
③ 上記２番目の手順 **「曲番を選ぶ」** から行なう。

ラジオを MD に録音する

リモコンのみ

準備：

① 録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
② [MD REC MODE] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

■ **途中で止めるには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。
" UTOC Writing "の点滅後、録音が停止します。

■ **一時停止するには**
[●/❚❚ REC] を押しながら、[▶/❚❚ MD] を押す。
トラックマークが付きます。
(再開するには、もう一度、同じ操作を行う)

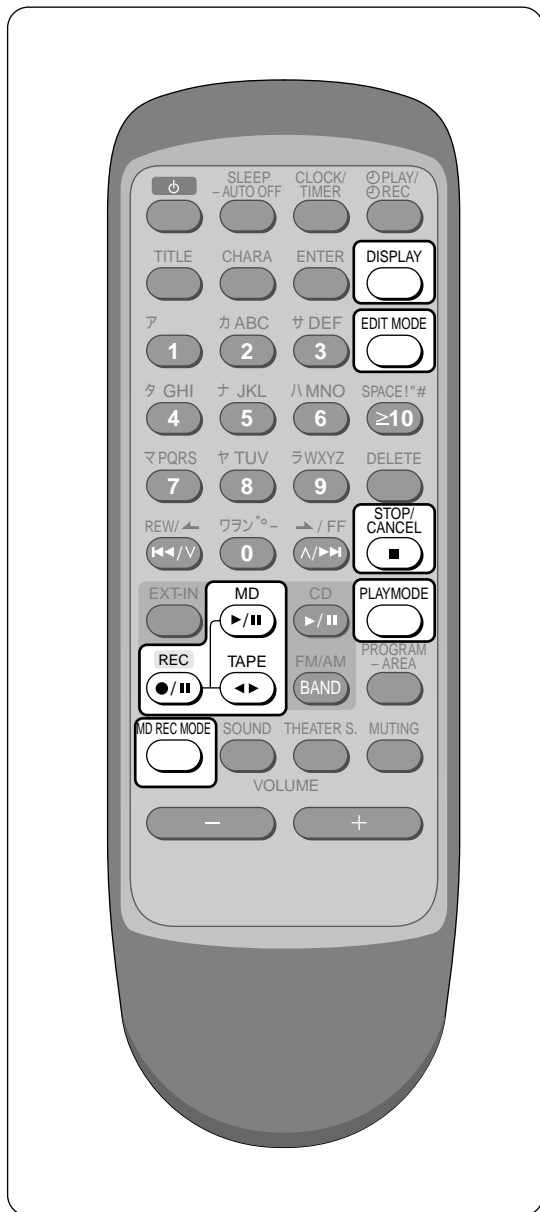
■ **MD の残り時間を知るには**
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

お知らせ

● エリアバンクで記憶された放送局を録音すると、放送局が曲の名前(トラックタイトル)として記録されます。

いろいろな録音（つづき）

共通の準備：

- **ラジオを録音するときは**
  録音したい放送局を受信する。
- **テープから録音するときは**
  たるみをとったテープを入れ、リバースモードを選ぶ。(➡ 17 ページ) 自動的におもて面からになります。
- **MD から録音するときは**
  MD を入れる。(➡ 15 ページ)
- **CD を録音するときは**
  CD トレイを開き、CD を入れる。(➡ 13 ページ)（CD トレイは閉める）

ラジオをテープに録音する

リモコンのみ

準備：
たるみをとった録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。(➡ 23 ページ) 自動的におもて面から録音されます。（うら面に録音するときは ➡ 23 ページ）

録音が始まります。

■ **途中で止めるには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。

■ **一時停止するには**
[●/❚❚ REC] を押しながら、[◀▶ TAPE] を押す。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

■ **AM 放送録音中に雑音が多いときは**
（BP ：ビートプルーフ）
録音中に[PLAY MODE]を押し続ける。
押し続けるたびに：“ BP 1 ”⇄“ BP 2 ”
雑音の少ないほうにします。

お知らせ

- テープのおもて面からうら面に切り換わるときに、録音が少し途切れます。

テープを MD に録音する

リモコンのみ

準備：
① 録音用 MD を入れる。(➡ 15 ページ)
② [◀▶ TAPE] を押して、“ TAPE ”を選び [■ STOP/CANCEL] を押す。
③ [MD REC MODE] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

EDIT MODE **押して、録音モードを選ぶ**

MANUAL

押すたびに
MANUAL → TIME MARK

MANUAL（マニュアル）： トラックマークを自動で記録しない
TIME MARK（タイム マーク）： 5 分おきにトラックマークを自動記録する

REC ●/II **押しながら** MD ▶/II **押す**

TAPE→MD

録音が始まります。

■ **途中で止めるには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。
“ UTOC Writing ”の点滅後、録音が停止します。
■ **一時停止するには**
[●/II REC] を押しながら、[▶/II MD] を押す。トラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）
■ **MD の残り時間を知るには**
[DISPLAY] を残り時間表示になるまで数回押す。

MD をテープに録音する

リモコンのみ

準備：
① たるみをとった録音用テープを入れ、リバースモードを選ぶ。(➡ 23 ページ) 自動的におもて面から録音されます。（うら面に録音するときは ➡ 23 ページ）
② [▶/II MD] を押して、“ MD ”を選び [■ STOP/CANCEL]を押す。

REC ●/II **押しながら** TAPE ◀▶ **押す**

MD→TAPE

録音が始まります。

■ **途中で止めるには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。
■ **一時停止するには**
[●/II REC] を押しながら、[◀▶ TAPE] を押す。MD は一時停止し、テープは録音待機状態になります。（再開するには、もう一度、同じ操作を行う）

お知らせ
● テープのおもて面からうら面に切り換わるときに、録音が少し途切れます。

CD や MD から好みの曲だけを録音する

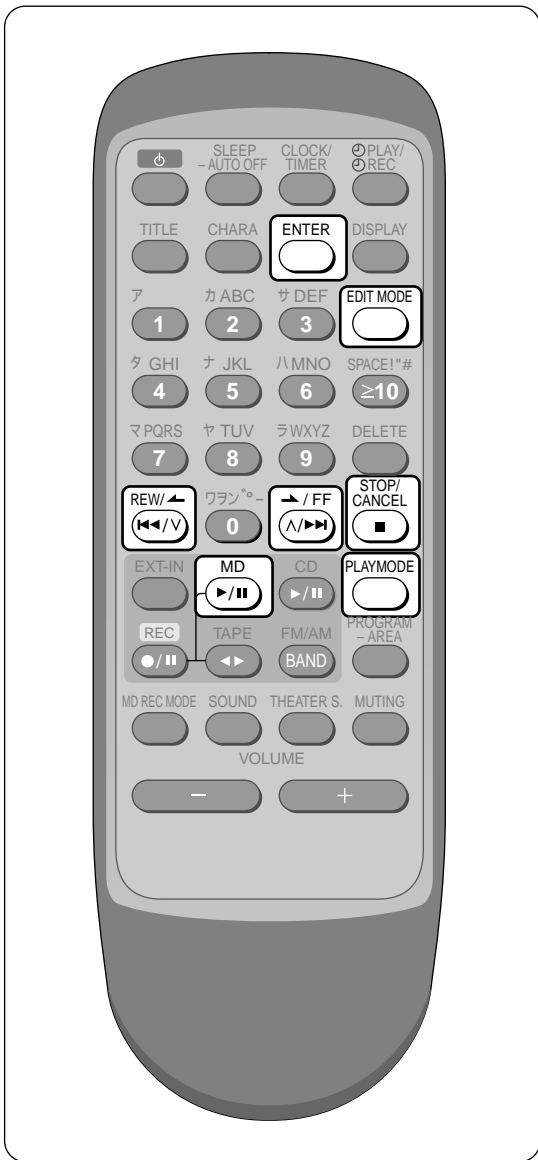
リモコンのみ

■ CD から MD に録音
① 録音したい曲を予約する。(➡ 24 ページ)
② [MD REC MODE] を押して、SP/LP2/LP4 のいずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)
③ [●/II REC] を押しながら、[▶/II MD] を押して、録音を始める。

■ CD からテープに録音
① 録音したい曲を予約する。(➡ 24 ページ)
② [●/II REC] を押しながら、[◀▶ TAPE] を押して、録音を始める。

■ MD からテープに録音
① 録音したい曲を予約する。(➡ 24 ページ)
② [●/II REC] を押しながら、[◀▶ TAPE] を押して、録音を始める。

グループで聞く(MDのみ) リモコンのみ

MD に録音した曲を好みのひとかたまりのグループとして管理できます。
最大 99 個のグループがつくれます。(UTOC エリアの空き状況により異なります。)

お知らせ

- グループにできるのは、連続した曲(例: 1 曲目~10 曲目)のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 1 曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。
- 本機でグループ編集を行った MD を、さらに、グループ機能未対応の機種で編集操作を行った場合、グループ管理情報が使えなくなる可能性があります。
- 本機でグループ編集を行った MD を、グループ機能未対応の機種で再生すると、ディスクタイトルが正しく表示されません。
- プログラム、ランダム、1 ソング、1グループプレイ設定中は、グループにできません。各モードを解除してください。

曲をグループにまとめる

準備:
① 編集したい MD を入れる。(➡ 15 ページ)
② [▶/❚❚ MD]を押して、“ MD ”を選び、[■ STOP/CANCEL]を押す。

停止中に

EDIT MODE **押して、“ GROUP? ”を選ぶ**

GROUP?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE?
↑ ↓
GROUP? ← TITLE ST.? ← COMBINE?

ENTER **押す**

SET?

全曲ともグループ編集されている場合は、“ SET? ”は選べません。

ENTER **押す**

--?----

REW/ (⏮/∨) **または** / FF (∧/⏭) **押して、トラック番号を選ぶ**

3?----

ENTER **押す**

3 ~3?

REW/ (⏮/∨) **または** / FF (∧/⏭) **押して、トラック番号を選ぶ**

3 ~5?

ENTER **押す**

G 1 TITLE

グループの名前を付ける (➡ 41 ページ)

ENTER **押す**

UTOC Writing

“ UTOC Writing ”の点滅後、グループ編集が完了します。

■ 途中で止めるには
[■ STOP/CANCEL] を押す。

グループ名を変更するには

EDIT MODE
押して、“ GROUP? ”を選ぶ

GROUP?

ENTER
押す

SET?

⇀ / FF ∧/▶▶|
押して、“ TITLE? ”を選ぶ

TITLE?

押すたびに
SET? → TITLE? → RELEASE?
└ ALL RELEASE? ↵
グループが全くない場合は“ SET? ”しか選べません。

ENTER
押す

G 1 HIT SONG

REW/ ↼ |◀◀/∨ **または** ⇀ / FF ∧/▶▶|
押して、グループを選ぶ

G 2 MY BEST

ENTER
押す

グループの名前を付ける (➡ 41 ページ)

ENTER
押す

UTOC Writing

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。

グループを解除する

- **ひとつのグループを解除するには**

① [EDIT MODE] を押して、“ GROUP? ”を選び、[ENTER] を押す。
② [|◀◀/∨ REW/ ↼] または [∧/▶▶| ⇀ /FF] を押して、“ RELEASE? ”を選び、[ENTER]を押す。
③ [|◀◀/∨ REW/ ↼] または [∧/▶▶| ⇀ /FF] を押して、解除したいグループを選び、[ENTER] を押す。
④ [ENTER] を押す。
“ UTOC Writing ”が表示されます。

- **全グループを解除するには**

① [EDIT MODE] を押して、“ GROUP? ”を選び、[ENTER]を押す。
② [|◀◀/∨ REW/ ↼] または [∧/▶▶| ⇀ /FF] を押して、“ ALL RELEASE? ”を選び、[ENTER] を押す。
③ [ENTER] を押す。
“ UTOC Writing ”が表示されます。

グループごとに聞く

まず、グループ編集を行ってください。 (➡ 34 ページ)

1 グループのみを聞く(1 グループプレイ)

準備：
[▶/❚❚ MD]を押して、“ MD ”を選び、
[■ STOP/CANCEL]を押す。

REW/ ↼ |◀◀/∨ **または** ⇀ / FF ∧/▶▶|
押し続けて、グループを選ぶ

G 2 MY BEST

PLAYMODE
押して、“ 1-GROUP ”を選ぶ

1-GROUP

MD ▶/❚❚
押す
再生が始まります。

■ 解除するには
停止中に、[PLAY MODE] を押し、“ 1-GROUP ”を消す。

お知らせ
- 1 グループプレイ設定中に MD の編集はできません。

グループを前後に飛び越す(グループスキップ)

停止中に
REW/ ↼ |◀◀/∨ **または** ⇀ / FF ∧/▶▶|
押し続けて、聞きたいグループを選ぶ

1 グループをくり返す(1 グループリピート)

1 グループプレイの設定をする。
(➡ 上記)

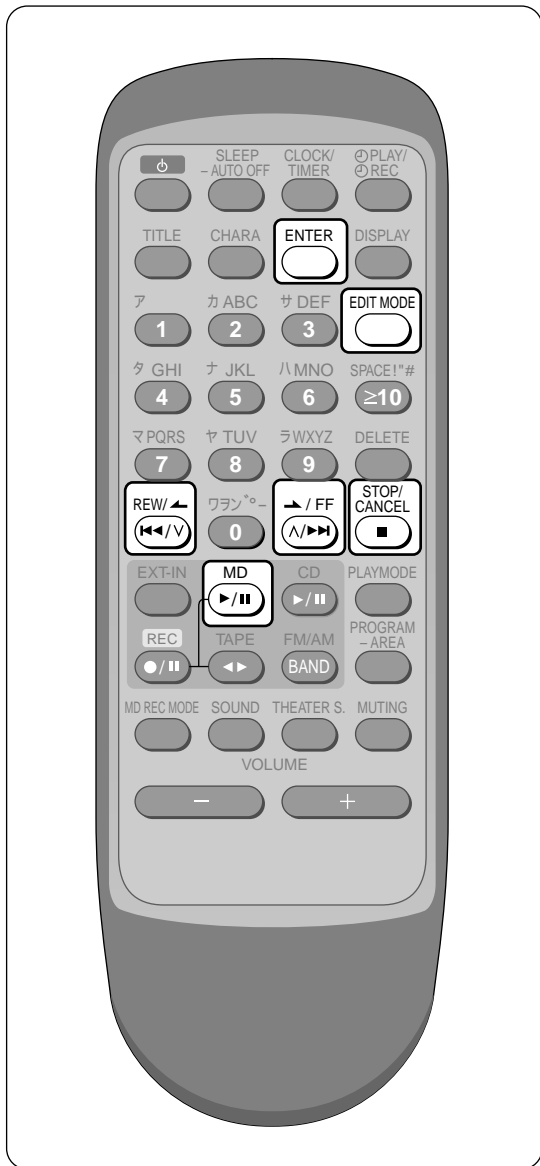
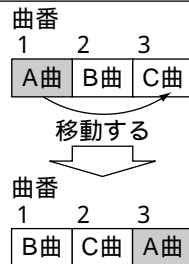
PLAYMODE
“ REPEAT ON ”が表示されるまで、[PLAY MODE] を押し続ける

MD ▶/❚❚
押す
再生が始まります。

■ 解除するには
“ REPEAT OFF ”が表示されるまで、[PLAY MODE] を押し続ける。

MD を編集する リモコンのみ

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD を作ることができます。(録音用 MD のみ)
グループ編集 (➡ 34 ページ) を行った MD で編集作業を行うと、編集内容に応じて、グループ情報も自動的に更新されます。

準備：編集したい MD を入れる。(➡ 15 ページ)

曲を移動する (ムーブ)

“UTOC Writing”の点滅後、編集が完了します。

■ **停止中でもできます**

① [▶/❚❚ MD] を押して、“MD”を選び、[■ STOP/CANCEL] を押す。
② [EDIT MODE] を押して、“MOVE?”を選び、[ENTER] を押す。
③ [⏮/∨ REW/◀◀] または [∧/⏭ ▶▶/FF] で移動する曲を選び、[ENTER] を押す。
④ [⏮/∨ REW/◀◀] または [∧/⏭ ▶▶/FF] で移動先を選び、[ENTER] を押す。
⑤ [ENTER] を押す。

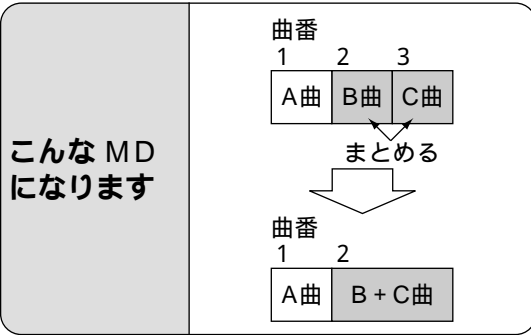
■ **途中で解除するには**

[■ STOP/CANCEL] を押す。

お知らせ

● グループ管理している MD で曲を移動しようとすると“GROUP DATA FULL”が表示され、移動ができない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。

2 曲を 1 つにまとめる（コンバイン）

こんな MD になります

EDIT MODE

まとめる 2 曲の後ろの曲の演奏中に押して、“ COMBINE? ”を選ぶ

COMBINE?

押すたびに
TRACK ERASE?→ MOVE?
↑ ↓
DIVIDE? ← COMBINE?

曲のつなぎ目の前後をくり返し演奏します。（SP では 8 秒間、LP2 では 16 秒間、LP4 では 32 秒間）

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。

■ **途中で解除するには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。

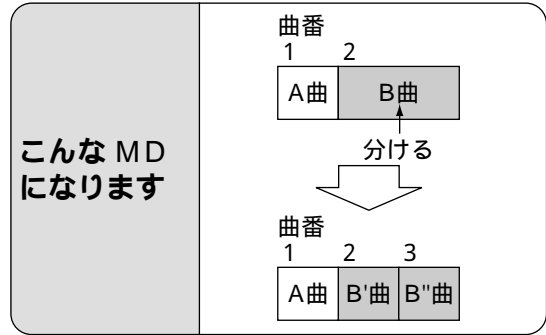
■ **編集前の状態に戻すには**
ディバイド機能（➡ 右記）をお使いください。

■ **停止中でもできます**
① [▶/❚❚ MD] を押して、“ MD ”を選び、[■ STOP/CANCEL] を押す。
② [EDIT MODE] を押して、“ COMBINE? ”を選び、[ENTER] を押す。
③ [⏮/∨ REW/ ◢] または [∧/⏭ ◣ /FF] でまとめる曲の組み合わせを選び、[ENTER] を押す。
④ [ENTER] を押す。

お知らせ

- 2 曲を 1 つにまとめると、後ろの曲に付いていたタイトルは消え、前の曲のタイトルになります。
- SP/LP2/LP4 の異なるモードで記録された曲は 1 つにまとめられません。
- LP4 モードで録音された曲をつなげると、つないだ部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

1 曲を 2 つに分ける（ディバイド）

こんな MD になります

EDIT MODE

2 つに分ける曲の演奏中に押して、“ DIVIDE? ”を選ぶ

DIVIDE?

押すたびに
TRACK ERASE?→ MOVE?
↑ ↓
DIVIDE? ← COMBINE?

ENTER

おおよその分けたい位置で、押す

DIVIDE
⬇
POS +000?

分けた位置から SP では 4 秒、LP2 では 8 秒、LP4 では 16 秒間を繰り返し演奏します。

REW/◢ ⏮/∨ または ◣/FF ∧/⏭

押して、正確な位置を調節する

POS +006?

SP では前後 8 秒、LP2 では前後 16 秒、LP4 では前後 32 秒の範囲で調節できます。数値は－ 128 から +127 の範囲で表示されます。

ENTER

押す

UTOC Writing

“ UTOC Writing ”点滅後、編集が完了し、分けた位置にトラックマークが付きます。

■ **途中で解除するには**
[■ STOP/CANCEL] を押す。

■ **編集前の状態に戻すには**
コンバイン機能（➡ 左記）をお使いください。

お知らせ

- タイトルの付いた曲を 2 つに分けると、後ろの曲はタイトルなしになります。
- グループ管理している MD で 2 曲に分けようとすると“ GROUP DATA FULL ”が表示され、分けられない場合があります。その場合は、グループを 1 つ解除するか、不要なタイトルを消去してください。
- LP4 モードで録音した曲を 2 つに分けると、分けた部分で左右のチャンネル間に若干の音漏れを生じる場合があります。

ＭＤを編集する（つづき）

曲を消す（イレース）

イレースには次の２種類があります。

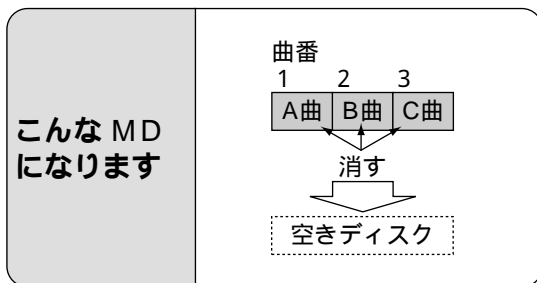
ALL ERASE（オール イレース）：１度に全曲を消したいとき

TRACK ERASE（トラック イレース）：１曲／数曲（最大２４曲）を消したいとき

準備：

① 編集したいＭＤを入れる。(➡ １５ ページ)

② [▶/❚❚ MD]を押して、“ MD ” を選び、[■ STOP/CANCEL]を押す。

全曲を消す（オール イレース）

こんなＭＤになります

EDIT MODE

停止中に押して、“ ALL ERASE? ”を選ぶ

ALL ERASE?

押すたびに

TRACK ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
GROUP? MOVE?
↑ ↓
TITLE ST.? ← COMBINE?

ENTER

押す

ALL ERASE ?
↕
PRESS ENTER

ENTER

押す

UTOC Writing

“ UTOC Writing ”→“ BLANK DISC ” 表示になり、編集が完了します。

1 曲/数曲を消す（トラック イレース）

こんな MD になります

EDIT MODE

停止中に押して、“ TRACK ERASE? ”を選ぶ

TRACK ERASE?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
GROUP? MOVE?
↑ ↓
TITLE ST.? ← COMBINE?

ENTER

押す

TRACK ERASE?
↓
ERASE -?

REW/ |◀◀/∨ または ▶▶|/∧ / FF

押して、消したい曲番を選ぶ

選んだ曲の演奏時間

MD 2 3:22
ERASE 2?

選んだ曲

ENTER

押す

最後に選んだ曲　選んだ曲の総数

MD 5 --04
ERASE 5 ?
↕
PRESS ENTER

数曲を消すときは、2 つ前の手順「消したい曲番を選ぶ」に戻る

ENTER

押す

UTOC Writing

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集が完了します。

■ 途中で解除するには
[■ STOP/CANCEL]を押す。

■“ SELECT OVER ”が表示されたら
24 曲を超えて消そうとしました。
1 回の操作では、これ以上は消せません。
何回かに分けて操作してください。

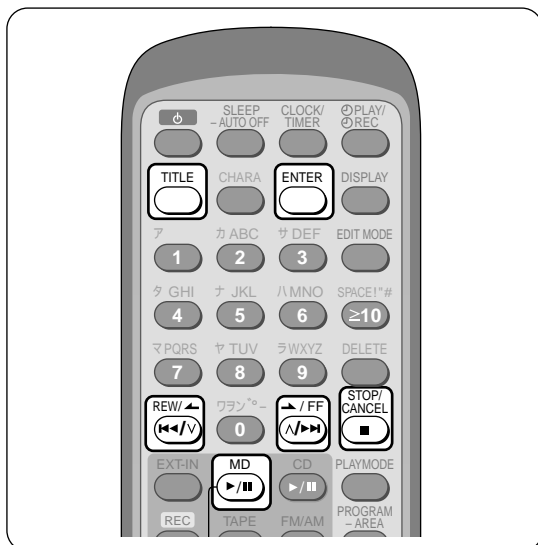
■ 全曲消すと
ディスクタイトルも消えます。
グループ管理している場合、そのグループ名も消えます。

■ トラックイレースは演奏中（または一時停止中）でもできます
① 消したい曲を演奏（または一時停止）する。
② [EDIT MODE]を押して、“ TRACK ERASE? ” を選び、[ENTER]を押す。
③ [ENTER]を押す。

MD にタイトルを付ける リモコンのみ

- MD の名前（ディスクタイトル）や曲の名前（トラックタイトル）が各 100 文字まで記録できます。
  LP2/LP4 で録音した場合は、97 文字になります。
- 1 枚の MD にはアルファベットで約 1700 文字記録できます。（文字の種類、曲数の関係で、少し減ることがあります。）
- LP2/LP4 で録音した場合、曲のタイトルの先頭に「LP:」と自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。また、グループ編集をしていると、グループ管理情報が記録されるため、入力できる文字数は少なくなります。

■ **文字の種類**

カタカナ（大、小）：アイウエオァィゥェォなど
アルファベット（大）： ABCDEFG など
アルファベット（小）： abcdefg など
数字： 0123456789
記号：␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `
␣ は空白を意味します。

録音済み MD にタイトルを付ける

準備：
① 編集したい MD を入れる。（➡ 15 ページ）
② [▶/❚❚ MD] を押して、“ MD ”を選び、[■ STOP/CANCEL] を押す。

ディスクタイトルを付ける

TITLE
停止中に押す
DISC? TITLE

ENTER
押す
カーソル
タイトル入力画面になります。

文字を入力する（➡ 41 ページ）

ENTER
押す
UTOC Writing
“ UTOC Writing ”点滅後、タイトル入力が完了し、トラックタイトルの入力画面になります。
続けてトラックタイトルを入力するときは、「トラックタイトルを付ける」（➡ 右記）の 2 番目の手順から操作してください。

トラックタイトルを付ける

TITLE
停止中に押す

REW/ ⏮/∨ **または** / FF ∧/⏭
押して、曲番を選ぶ
TR 2? TITLE

ENTER
押す
タイトル入力画面になります。

文字を入力する（➡ 41 ページ）

ENTER
押す
UTOC Writing
“ UTOC Writing ”点滅後、次のトラックタイトルの入力待機画面になります。

[ENTER] を押して、くり返し必要なタイトルを入力する
すべてのトラックタイトルの入力が終わると、ディスクタイトルの画面になります。

■ **途中で止めるには**
[TITLE] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

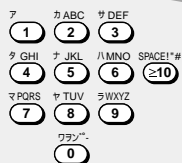
文字入力のしかた

タイトル入力画面にした後、以下の方法で入力してください。
選んだ文字がカーソル部分に入力されます。

CHARA

押して、文字の種類を選ぶ

押すたびに ア→A→a→1

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

押して、文字を選ぶ

エディットアイ

選んだ文字がエディットアイとカーソルに表示されます。

/ FF ∧/▶▶|

押す

文字が確定され、次の文字の入力画面になります。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

各ボタンを押すたびに、1 文字ずつ順に表示されます。

	カタカナ ア	アルファベット 大文字 A	アルファベット 小文字 a	数字 1
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カ ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ GHI 4	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
ナ JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ TUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラ WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜– 0	ワヲンー			0

■ 記号を入力するには

[≥10 SPACE!"#] を押す。
押すたびに下の順序で記号が現れます。

⊔ ! " # $ % & ' ( ) ＊ + , – . / : ; < = > ? @ _ `

⊔ は空白を意味します。

■ 文字を削除するには

① [|◀◀/∨ REW/] または [∧/▶▶| /FF] でカーソルを動かし、削除する文字の上に置く。
② [DELETE] を押す。
カーソル位置の文字が削除され、後ろに文字があるときは前に詰まります。

■ 文字の間に新しい文字や空白を入れるには

① [|◀◀/∨ REW/] または [∧/▶▶| /FF] でカーソルを動かし、挿入位置の右の文字の上に置く。
② 新しい文字を入力する。
空白を入れる場合は、[≥10 SPACE!"#] を押し、空白を選ぶ。続けて入れる場合は、[∧/▶▶| /FF] でカーソルを動かし、[≥10 SPACE!"#] を押し、空白を選ぶ。

■ ゛ ゜ ーを入力するには

[0 ワヲン゛゜ー] を押して、“ ゛ ”、“ ゜ ”または“ ー ”を選ぶ。
濁点 (゛) や半濁点 (゜) は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。あり得ない表記の場合は選択候補として現れません。

■ 文字を変更するには

① 変更したい文字を消す。
② 新しい文字を入力する。

■ 入力を途中で止めるには

[■ STOP/CANCEL] を押す。
ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。

■ 入力中に 1 文字あけるには

[∧/▶▶| /FF] を押す。
カーソルが 1 つ右に移動します。

お知らせ

- 文字と、濁点／半濁点の間に空白などは入れられません。
- 入力中に最大文字数を超える操作をした場合は、“ TITLE FULL ”と表示されます。
- 文字の種類は入力中でも切り換えられます。

MD にタイトルを付ける（つづき）

CD を録音中にまとめてタイトル(トラック・グループ)を付ける

Ⓐ LP2/LP4 モードで丸録り時（➡ 29 ページ）は、グループタイトルと全トラックタイトルを付けることができます。
Ⓑ SP モードで丸録り時 (➡ 29 ページ) は、全トラックタイトルを付けることができます。
Ⓒ シンクロ録音時 (➡ 20 ページ) は、録音中のタイトルのみ付けることができます。

文字を入力する（➡ 41 ページ）

ENTER

押す
丸録り時でないとき(Ⓒ)は“ TITLE WRITE ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

丸録り時(Ⓐ, Ⓑ)は次の操作に進みます

丸録り時のみ
Ⓐ **LP2/LP4 丸録り時：**
トラックタイトルを入力します。
Ⓑ **SP 丸録り時：**
次の曲のトラックタイトルを入力します。

文字を入力（➡ 41 ページ）**して [ENTER] を押す操作をくり返し、最後の曲までタイトルを入力する**
(曲名を入力しなくても、[ENTER]を押すと、次の曲に進みます)

ENTER

押す
“ TITLE WRITE ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

■ 途中で解除するには

[TITLE] を押す。ただし、すでに [ENTER] を押して確定したタイトルは残ります。
もう 1 度 [TITLE] を押すと、最初からタイトルを入力・修正できます。

■ 録音した MD の演奏中にタイトルを付けることもできます (演奏中の曲のみ)

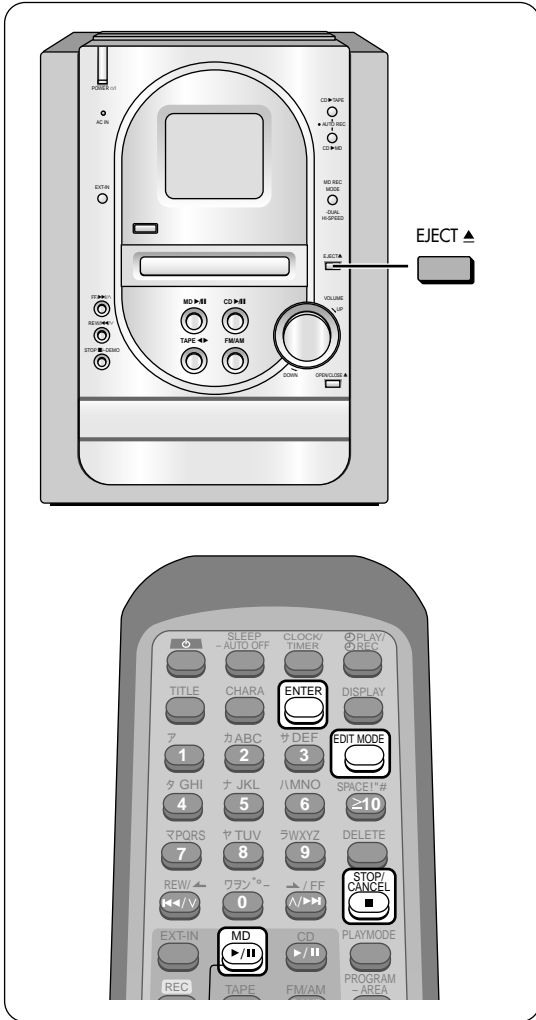
① 演奏中に [TITLE] を押す。
② 文字を入力 (➡ 41 ページ) して、[ENTER] を押す。
“ TITLE WRITE ”と表示された後、通常の表示に戻ります。

■ CD からの録音以外は、まとめてトラックタイトルを付けることはできません。

お知らせ

- 録音/演奏が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。
- 入力中に録音/演奏が終了した場合、入力状態は解除されます。ただし、すでに[ENTER]を押して確定したタイトルは記録されています。
- 入力中に録音が終了した場合は、入力途中の文字も含めて、タイトルの書き込みが行われます。
- MD の録音曲数よりもタイトルの方が多い場合は、余ったタイトルは記録されません。
- 演奏中にタイトルを付けた後、“ UTOC ”の点灯中は、文字入力以外の編集はできません。
一度、[■ STOP/CANCEL] を押して、“ UTOC Writing ”の点滅後に行ってください。

他の MD にタイトルをコピーする（タイトルステーション）

- MD のディスク／トラックタイトルを別の MD にそのままコピーできます。一度タイトルを入れておけば、二度目からは入力の手間が省けます。
- 下記の「タイトルをコピーする前に」をお読みください。

■タイトルをコピーする前に

- コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。
- 演奏専用 MD や、未録音の MD（BLANK DISC）は使用できません。
- すでにタイトルの入っている MD にタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。

準備：
[▶/❚❚ MD] を押して、“ MD ”を選び、
[■ STOP/CANCEL] を押す。

コピー元の MD を入れる

EDIT MODE

停止中に押して、“ TITLE ST.? ”を選ぶ

TITLE ST.?

押すたびに
TRACK ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → COMBINE? → TITLE ST.? → GROUP? → TRACK ERASE?

ENTER

押す

TITLE ST. ?
↕
PRESS ENTER

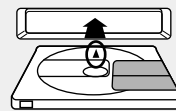
ENTER

押す

TITLE MEMORY
↓
COMPLETE
↓
EJECT MD

EJECT ▲

押して、コピー先の MD と入れ替える

INSERT MD

Writing OK?
↕
PRESS ENTER

ENTER

押す

UTOC Writing

点滅後、コピーが完了します。

■ 途中で解除するには

[■ STOP/CANCEL] を押す。

お知らせ

- 本機が記憶できるタイトルは MD1 枚分です。
- 電源を切ると本機のタイトルは失われます。
- LP2/LP4 で録音された曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に“ LP: ”と表示されます。
- コピー元のディスクが、グループ管理されている場合、コピー先に、グループ管理情報もコピーされます。

タイマーを使う リモコンのみ

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、演奏を停止し、自動的に電源が切れます。

ソースを聞きながら
押して、演奏時間を指定する

押すたびに
SLEEP 30 → 60 → 90 → 120 → OFF
(単位：分)

■ 解除するには
[SLEEP －AUTO OFF] を押して、“ SLEEP OFF ”を選ぶ。

■ 残り時間を確かめるには
[SLEEP －AUTO OFF] を 1 回押す。
残り時間が表示されます。

■ 残り時間を変えるには
[SLEEP －AUTO OFF] を押して、新たに時間を設定する。

お知らせ

- おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

おめざめタイマーを使う

- 設定した時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 時刻設定を一度しておくと、あとはソースの設定を変えるだけで、違うソースで使えます。

準備：
① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。（➡ 11 ページ）

表示例：6:30 ～ 7:40 まで好みのソースを演奏する場合

2 回押して、おめざめタイマー時刻設定画面にする

10 秒以内
押して、開始時刻に合わせる

または / FF ∧/▶▶I

ON OFF
6:30 0:00

CLOCK/TIMER

押す

ON OFF
6:30 6:30

押して、終了時刻に合わせる

または / FF ∧/▶▶I

ON OFF
6:30 7:40

押す

ソースと音量を選ぶ

① **ソースを演奏し、**

② **音量を調節し、**

③ **MD・CD・テープは演奏を止める。**

押して、“Ⓐ PLAY ”を選ぶ

押して、電源を切る

予約した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、演奏します。
（動作中は、“ Ⓐ PLAY ” が点滅）

■ 解除するには
[Ⓐ PLAY/Ⓐ REC]を押して、“ Ⓐ PLAY ”を消す。

■ 外部機器を使ったタイマー設定
上記手順 **「ソースと音量を選ぶ」** で［EXT-IN］を押し、“ AUX ”にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

■ 操作を間違えたり、予約した内容を変えるときは
① 電源を入れ、［Ⓐ PLAY/Ⓐ REC］を押して、“ Ⓐ PLAY ”を消す。
② 最初からやり直す。

■ 好みの曲を設定するには
上記手順 **「ソースと音量を選ぶ」** の前に、好みの曲を予約する。（➡ 24 ページ）

おめざめタイマーと留守録タイマーは同時には使えません。

タイマーを使う（つづき）

留守録タイマーを使う

設定した時刻に電源が入り、ラジオ放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

準備：

① 電源を入れる。
② 時計を合わせる。(➡ 11 ページ)
③ 録音用 MD またはテープを入れる。

表示例：18:30 ～ 20:00 まで好みの放送を録音する場合

放送局を受信する（➡ 19 ページ）

FM/AM
BAND

①“ FM ”または“ AM ”を選び、

REW/
⏮/V
または
/ FF
∧/⏭

② 周波数、またはチャンネルを合わせる。

◴PLAY/
◴REC

押して、“ MD REC ”または“ TAPE REC ”を選ぶ

◴REC
TIMER-REC
MD REC

押すたびに
TIMER－PLAY → TIMER－REC → TIMER－REC
（おめざめタイマー設定時のみ）　MD REC　TAPE REC
TIMER－OFF（解除）

押して、電源を切る

- 頭切れ防止のため、設定した時刻の30 秒前になると、タイマー動作が始まります。
  （動作中は、“ ◴ REC ” が点滅）
- 録音時、音量は自動的に最小になります。

■ 解除するには

[◴ PLAY/◴ REC] を押して、“ ◴ REC ”を消す。

■外部機器を使ったタイマー設定

上記手順**「放送局を受信する」**で [EXT-IN] を押し、“ AUX ”にしたあと、接続した機器を本機と同時刻に動作するように設定してください。

■ 操作を間違えたり、予約した内容を変えるときは

① 電源を入れ、[◴ PLAY/◴ REC] を押して、“ ◴ REC ”を消す。
② 最初からやり直す。

おめざめタイマーと留守録タイマーは同時には使えません。

いろいろなタイマー操作について

おめざめタイマー・留守録タイマー共通

■ 予約した内容を確かめるには

電源「切」のとき

[CLOCK/TIMER] を押す。
自動的に以下の表示を数秒間ずつ行います。

- おめざめタイマー
  ソースと開始・終了時間 → ソースと音量
- 留守録タイマー
  MD のとき：
  ソースと開始・終了時間 → 録音モードとソース・録音先 → 録音レベル
  TAPE のとき：
  ソースと開始・終了時間 → ソ ース・録音先

電源「入」のとき

[CLOCK/TIMER] を数回押すと、“ ◴ PLAY ”（または“ ◴ REC ”）の開始・終了時刻が表示されます。

■ 予約した後に、本機で演奏を楽しむには

① 電源を入れ、通常の演奏操作をする。
② 演奏後は、電源を切る。

音量やソースを変更しても、予約内容には影響しません。

■ タイマー動作する／動作しないを切り換えるには

タイマーは、“ ◴ PLAY ”（または“ ◴ REC ”）が表示中は、予約通りに毎日動作します。動作させないときは[◴ PLAY/◴ REC]を押して、“ ◴ PLAY ”（または“ ◴ REC ”）の表示を消します。

お知らせ

- タイマーを使うときは、必ず電源を切ってください。電源が入っていると動作しません。
- MD に録音するときには、好みの録音モード（➡ 30 ページ）にして、留守録タイマーを使うこともできます。（選べるモードはソースによって異なります。）
  ただし、TURN BACK または TURN/TIME モードを選んでも、設定した開始時刻から録音が始まります。
- MD に録音するときには、留守録タイマー設定前に、SP/LP2/LP4 のいずれかのモード（➡ 21 ページ）を選んでおいてください。設定された時点でのモードが記憶されます。
- MD に録音するときには、留守録タイマー設定前に、録音レベル（➡ 21 ページ）を設定しておいてください。設定された時点でのレベルが記憶されます。

ＭＤ ネットワーク機能を使う

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーや、ビジュアル／タイトルプリンター（ともに別売り）と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

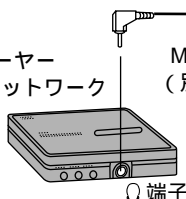
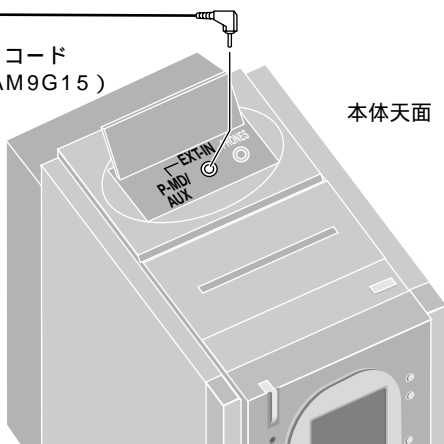
別売り品の品番は、2002 年 3 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

対応品

カタログにこのマークが付いている製品です。

ポータブル MD プレーヤーをつなぐ

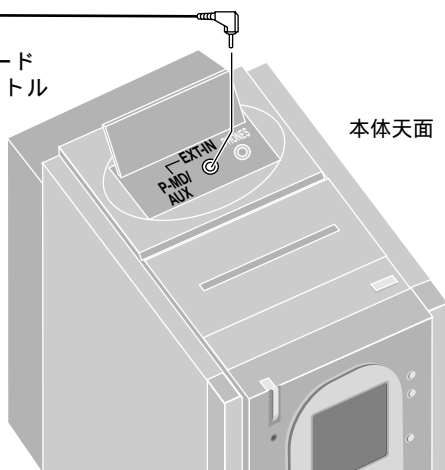
- 本機からポータブル MD プレーヤーをコントロールして、録音／タイトルコピーが簡単に行えます。
- 電源を切った状態で接続してください。

まず、天面のふたを開けてください。（➡ 6 ページ）

お願い

- ポータブル MD プレーヤーは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ビジュアル／タイトルプリンターをつなぐ

MD に付いているタイトルを元にして、MD のラベル印刷ができます。
詳しくは、ビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

まず、天面のふたを開けてください。（➡ 6 ページ）

お知らせ

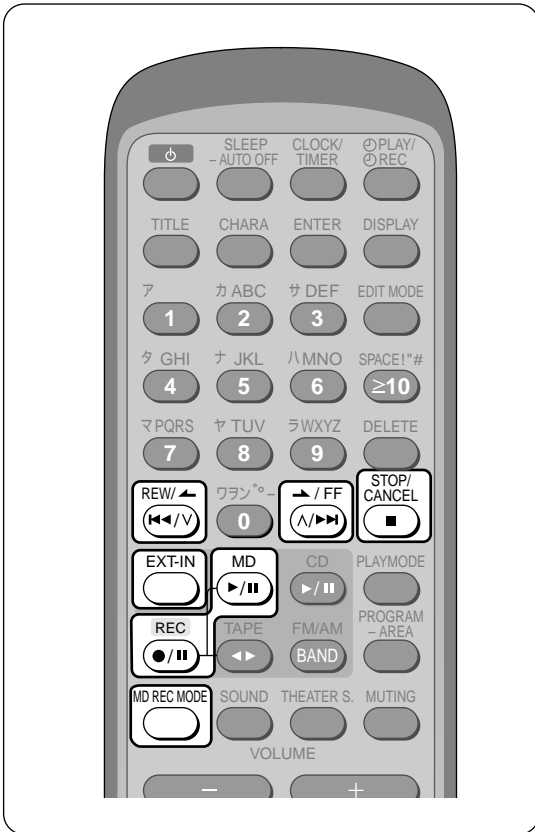
- グループタイトルを印刷することはできません。

お願い

- ビジュアルタイトルプリンターは、本機の上に置いて使用しないでください。ノイズが発生するなど、不具合の起こる恐れがあります。

ネットワーク機能で MD から MD に録音する

リモコンのみ

- ポータブル MD プレーヤーからのアナログ信号をデジタル信号に変換して録音します。
- 録音元 MD にタイトルが付いているときは、そのタイトルが、本機側の MD に、自動的にコピーされます。
- ポータブル MD がグループ対応でない場合、ディスクタイトルが正しくコピーされないことがあります。

■ 録音用 MD は少し余裕のあるものを
録音元 MD にトラックマークが付いているときは、新たに録音した MD の同じ位置に、約 1 秒間の無音部が記録されます。このため、実際の録音時間は録音元 MD の演奏時間より長くなります。録音の失敗を防ぐために、少し余裕のある MD をお使いください。

■ 録音が終わったら
ポータブル MD プレーヤーの電池の消耗を防ぐため、コードを抜いてください。

■" P-MD "が点滅したら
ボタン操作がない状態で約 4 分以上放置されているため、MD ネットワークが休止状態になっています。
ネットワーク機能を使うときは、もう一度[EXT-IN]を押してください。

■ 動作中（TOC 読み込みなど）に" P-MD ERROR "と表示されたら
MD ネットワークに異常があります。
ポータブル MD プレーヤーの電池残量や、コードの接続を確認して、もう一度[EXT-IN]を押してください。

準備：
① ポータブル MD プレーヤーに、録音元 MD を入れる。
② 本機に、録音用 MD を入れる。
③ [MD REC MODE] を押して、SP/LP2/LP4 いずれかのモードを選ぶ。(➡ 21 ページ)

全曲を録音する

EXT-IN **押して、" P-MD "を選ぶ**

P-MD (12Tr)

総曲数

自動的にネットワークが確立し、表示パネルにポータブル MD 側の総曲数が表示されます。ディスクタイトルが付いているときはタイトルも表示されます。

ポータブル MD 側は、自動的に、適切な音量・フラットな音質に設定されています。

REC ●/❚❚ **押しながら** MD ▶/❚❚ **押す**

P-MD 1Tr

曲番

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。

1 曲ずつ録音する

① [EXT-IN] を押して" P-MD "を選ぶ。
② [⏮/∨ REW/ ◀◀] または [∧/⏭ ▶▶ /FF] を押して曲番を選ぶ。
確認の意味で、選んだ曲の演奏が自動的に始まります。
③ [●/❚❚ REC] を押しながら、[▶/❚❚ MD] を押す。
自動的に曲の始めに戻って、録音が始まります。
1 曲の録音が終わると自動停止します。

■ 途中で止めるには
[■ STOP/CANCEL] を押す。

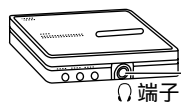
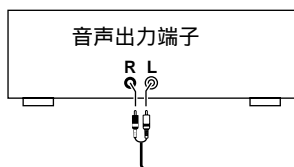
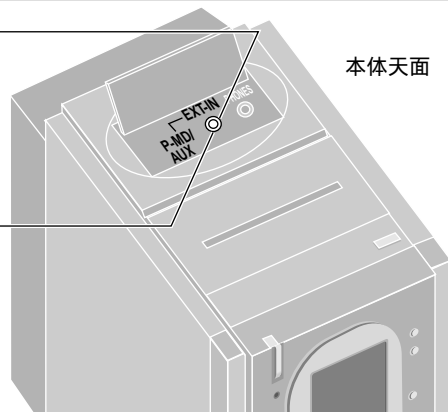
お知らせ

- MD ネットワーク対応の MD ステレオシステムどうしをつないでも、この機能は働きません。
- 市販の演奏用 MD から録音する場合、タイトルはコピーされません。
- ディスクタイトルが付いている MD に録音した場合は、ディスクタイトルはコピーされません。
また、1 曲ずつ録音した場合やコピー先にグループ管理情報が入っている場合もディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能は、タイマーと組み合わせて使うことはできません。
- SP/LP2/LP4 の各モードはコピーされません。本機で選んでいるモードになります。

別売り機器と組み合わせて使う

別売り品の品番は、2002 年 3 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

別売り機器をつなぐ

まず、天面のふたを開けてください。
(➡ 6 ページ)

■ **アナログプレーヤーを接続するには**

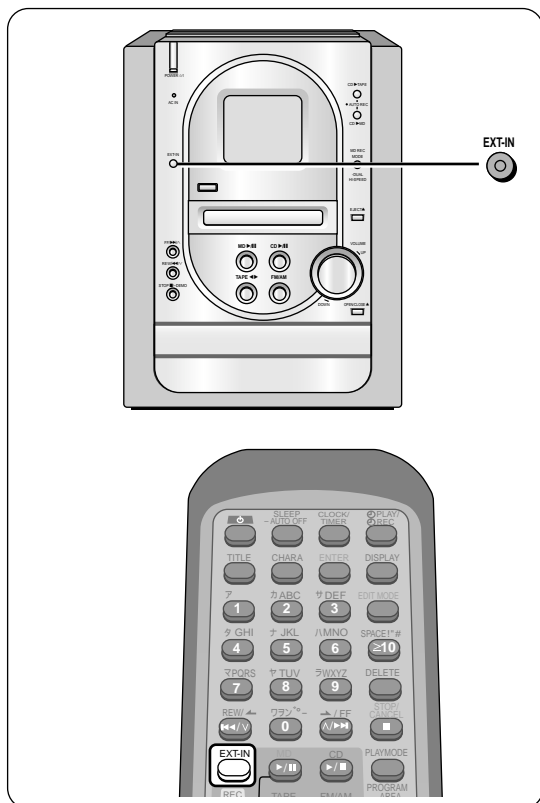
フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

推奨品：当社製アナログプレーヤー SL-J8（フォノイコライザー内蔵）

SL-J8 を本機に接続するには、ミニフォーン・ツウピンラインコード（別売り： RP-CAPM3G15）とピンコード中継アダプター（別売り： RP-PA66A)が必要です。

お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。
そのままつなぐと音が小さくなります。

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーの場合は、48 ページの方法で接続すると簡単に録音できます。

別売り機器を再生する

準備：
テレビ、有線放送の場合は好みの放送局を受信する。

EXT-IN **押して、“ AUX ”を選ぶ**

本体のみ

EXT-IN **押し続けて、入力レベルを選ぶ**

NORMAL: レベルを変えないとき

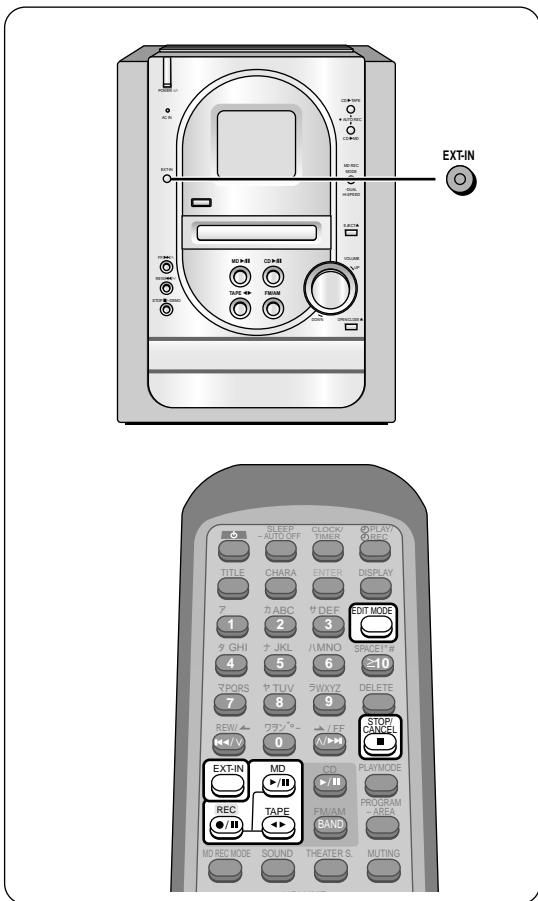
↓↑

HIGH: レベルを上げたいとき（ポータブル MD など信号レベルの低い機器）

ソースの演奏を始める

■ **リモコンで操作するには**

[EXT-IN] を押して、“ AUX ”を選び、ソースの演奏を始める。

別売り機器を本機の MD ・テープに録音する

録音モードについて

つないだ機器によって、選択できる録音モードは異なります。

MANUAL（マニュアル）：通常の録音モードです。録音中に[EDIT MODE]を押すと、“ TR-MARKING ”と表示され、その時点にトラックマークが付きます。

SYNCHRO（シンクロ）：接続した機器の演奏が始まると、自動的に録音も始まるモードです。無音の状態が約 3 秒続くと録音が一時停止し、演奏が再開すると録音も再開します。録音開始位置に、自動的にトラックマークが付きます。

TURN BACK（ターン バック）：頭切れを防ぐために、数秒前から録音するモードです。

TIME MARK（タイム マーク）：5 分おきにトラックマークが自動的に付くモードです。

TURN/TIME（ターン タイム）：数秒前の音から録音し、5 分毎にトラックマークが自動的に付くモードです。

お知らせ

- 曲によっては、SYNCHRO（シンクロ）録音モードを使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、他の録音モードで録音してください。
- ポータブル MD プレーヤーからの録音中に音がひずむ場合は、ポータブル MD プレーヤーの音量を調節してください。

本機の MD に録音する

準備：

① テレビ、有線放送の場合は好みの放送局を受信する。
② 録音用 MD を入れる。

EXT-IN **押して、“ AUX ”を選ぶ**

本体のみ
EXT-IN **押し続けて、入力レベルを選ぶ**

NORMAL: レベルを変えないとき
↓↑
HIGH: レベルを上げたいとき（ポータブル MD など信号レベルの低い機器）

EDIT MODE **押して、録音モード（左記参照）を選ぶ**

REC [●/❚❚] **押しながら** MD [▶/❚❚] **押す**

- “ MANUAL（マニュアル） ”または“ TIME MARK（タイム マーク） ”選択時は録音が始まります。
- “ SYNCHRO（シンクロ） ”選択時は録音待機状態になります。
- “ TURN BACK（ターン バック） ”または“ TURN/TIME（ターン タイム） ”選択時は“ TURN BACK ”の表示が点滅→点灯に変わったあと、もう一度[●/❚❚ REC]押しながら、[▶/❚❚ MD]を押してください。

ソースの演奏を始める

“ SYNCHRO（シンクロ） ”選択時は、演奏と同時に録音が始まります。

本機のカセットテープに録音する

① カセットテープを入れ、リバースモードを選ぶ。
② [EXT-IN]を押して“ AUX ”を選ぶ。
③ [●/❚❚ REC]を押しながら、[◀▶ TAPE]を押す。
④ ソースの演奏を始める。

■ 停止するには

[■ STOP/CANCEL]を押す。

音質／音場、便利な機能を使う リモコンのみ

一時的に消音する（ミューティング）

電話がかかってきたときなどに便利です。

MUTING **押す**　MUTING

解除するには、もう一度押して、“ MUTING ”を消す。
または、[VOLUME] を“ --dB ”にする。

お知らせ

電源を切っても解除されます。

音に臨場感を与える（シアターサウンド）

セリフやボーカルなどに臨場感を与え、音に自然な広がりと奥行きを付けます。

THEATER S. **押す**　Theater Sound ON

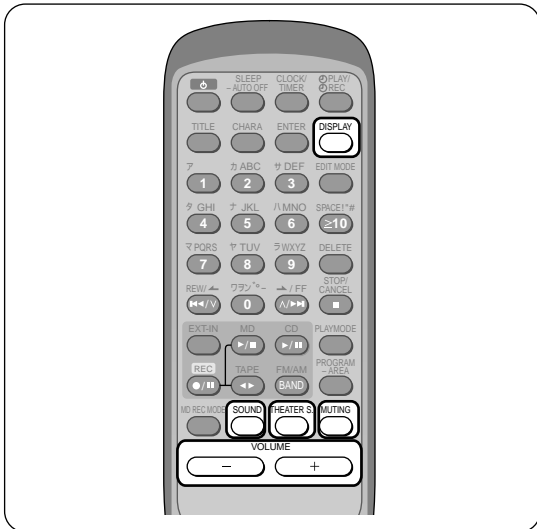
解除するには、もう一度押す。
- ステレオ音声に効果があります。
- ヘッドフォンで聞くときは、スピーカーで聞くより効果が少なく聞こえます。

お知らせ

- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、解除してください。

表示を切り換える

本機の状態（再生・停止・録音）や、ソース（音源）によって表示する内容は異なります。

DISPLAY **好みの表示になるまで押す**

好みの音質を楽しむ（イコライザー）

MANUAL EQ を使う

BASS（低域）と TREBLE（高域）の調整ができます。

SOUND **“ MANUAL EQ ”が表示されるまで押し続ける**

MANUAL EQ

押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇄ PRESET EQ

SOUND **押して、“ BASS ”（低域）あるいは“ TREBLE ”（高域）選ぶ**

BASS 0

押すたびに
BASS → TREBLE →元の表示

VOLUME − ＋　“ BASS ”または“ TREBLE ”表示中に

押して、レベルを調整する

BASS +1

± 4 段階ずつ調整できます。

PRESET EQ を使う

Heavy、Clear、Soft、Vocal の 4 種類の音質が選べます。

SOUND **“ PRESET EQ ”が表示されるまで、押し続ける**

PRESET EQ
EQ-ON

押し続けるたびに
MANUAL EQ ⇄ PRESET EQ

SOUND **押して、好みの音質を選ぶ**

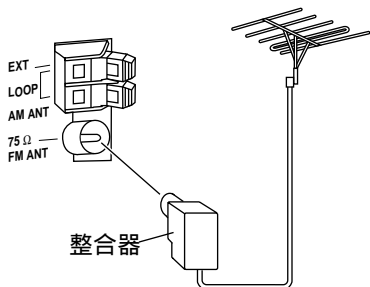
EQ → Heavy

押すたびに
Heavy ：ロックなど、パンチを効かせるとき
Clear ：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
Soft ：BGM として聞くとき
Vocal ：ボーカルにつやを出したいとき
OFF ：音質効果を使わないとき

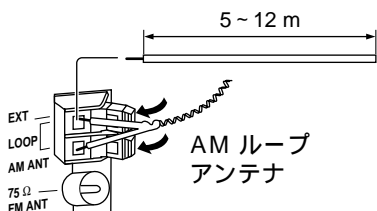
屋外アンテナの接続

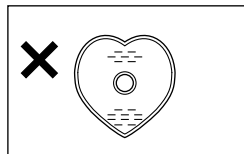
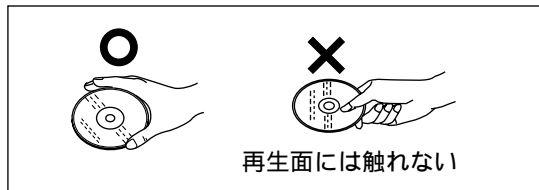
山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

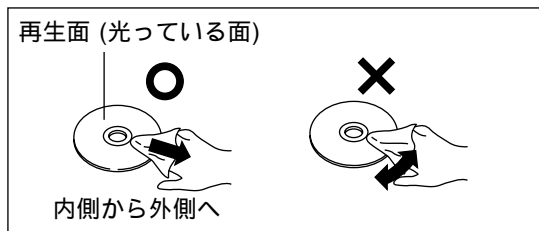
FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）を整合器（市販）に取り付けて、後面に接続します。
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。

AM（市販のビニール線）

付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

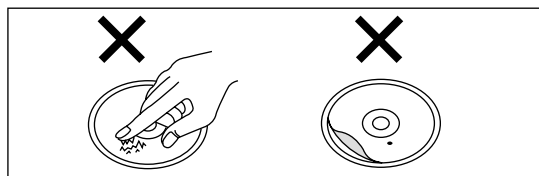
ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

■持ちかた

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス　VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

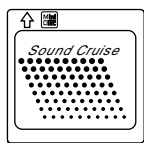
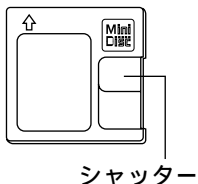
CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

MD について

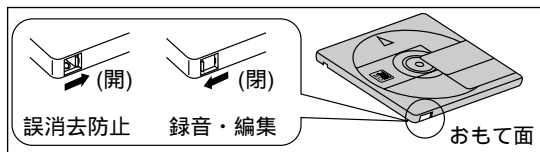
MD の種類

■演奏専用 MD
録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD
磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

■テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです。
ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために
MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“ コピーのコピー ”の禁止。）
なお、アナログ録音には、このような制限はありません。

■録音、編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“ UTOC ”の点灯中または“ UTOC Writing ”の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

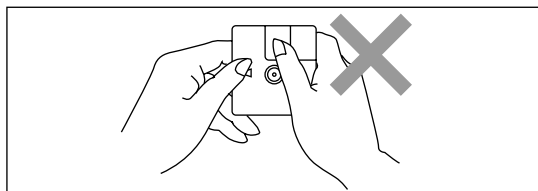
■トラックマーク
録音部分に記録される“ 区切り ”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲番まで記録することができます。

■TOC（トック）（Table of Contents）
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■UTOC（ユートック）（User Table of Contents）
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“ UTOC Writing ”と表示され注意を促します。

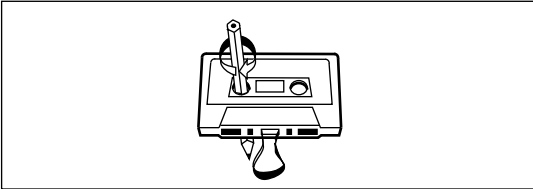
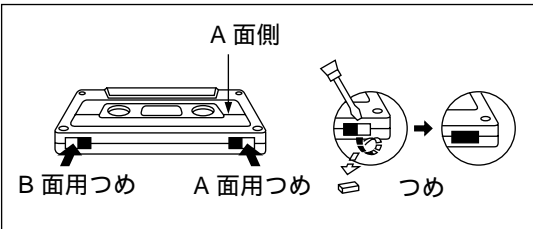
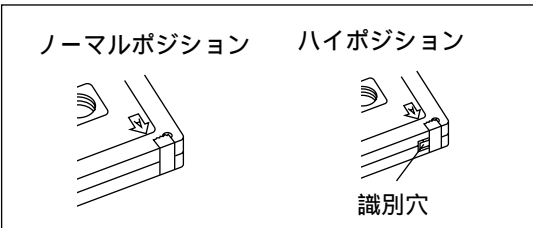
■MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。）

テープについて

■100 分を越えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります）

■エンドレステープはオートリバース対応のものを
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

■テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するには
セロハンテープなどを貼ってください。

ハイポジションテープの種類識別穴はふさがないでください。

■ 録音を消して無音テープを作るには
① [◀▶ TAPE] を押して、“ TAPE ”を選び、[■ STOP/CANCEL] を押す。
② テープを入れる。
③ [PLAY MODE] を押して、リバースモードを選ぶ。
④ [●/❚❚ REC] を押しながら、[◀▶ TAPE] を押す。

保管（CD•MD•テープ）

■次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD・MD を良い音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■テープを良い音でお楽しみいただくために
定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 3232-8301	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎(03) 5286-1671	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q （質問）	A （回答）	参照ページ
他の機器との接続	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ（サービスルート扱い品番： RFKZ0088KIT）が必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	50
	テレビをつなぎたい	天面の「EXT-IN」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	50
	有線放送をつなぎたい	天面の「EXT-IN」端子に接続します。	50
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	
MD	MD ネットワークに対応している機器は？	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	48・49
	MD で長時間録音する方法は？	[MD REC MODE −DUAL HI-SPEED]を押して“ LP2 ”または“ LP4 ”を表示させます。 あとは、通常の録音操作をしてください。	21
	録音用 MD の残り時間を知りたい	残時間表示になるまで、[DISPLAY]を押してください。	21
	録音済み MD に上書き録音したい	MD は、テープと異なり、上書き録音はできません。 MD の残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	イレース （➡ 39 ページ）
	録音済み MD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。 頭出しは不要です。	
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。 ただし、録音される音は停止中に MD の録音レベルを調整することで変更できます。	20・21
	LP2、LP4 で録音された MD はどのプレーヤーでも再生できる？	MDLP に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“ LP: ”と表示され、無音で再生されます。	
その他	メタルテープに録音すると、どうなる？	本機では、正しく録音・消去できません。 前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	
	引っ越しするのだが、そのまま使える？	東日本・西日本に関係なく使えます。	

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1 ソング各モード設定中は、タイトル編集できません。	各モードを解除したうえで、編集操作を行ってください。
CD NO DISC	CD が入っていません。	CD を入れてください。
DISC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切/入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するには、テープのつめの部分にセロテープを貼ってください。
EJECT ERROR LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れます。	MD を一度抜いて、電源を入れ、操作し直してください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生しました。	MD を入れ直し、操作し直してください。
ERROR	操作が違います。	取扱説明書に従って、操作し直してください。
F □□ H □□ (□□は数字を示します)	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	もう一度、電源を「入」にしてください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
GROUP DATA FULL	UTOC エリアに空き領域がないため、グループにまとめたり、ディバイドやコンバインができません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1 つのグループを解除してください。
MD F □□ (□□は数字を示します)	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。 それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MD NO DISC	MD が入っていません。	MD を入れてください。
NO REMAIN	MD に空きのない状態で、CD の丸録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
PlaybackDISC	演奏専用 MD に録音・編集しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、MD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS (➡ 54 ページ) が記録された CD-R や CD-RW から MD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 [EDIT MODE] を押して、録音モードを " ANALOG-REC "に切り換えてください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	タイトルが 101 文字以上あります。	[ENTER]を押すと、101 文字以降は切り捨てられます。
	タイトルを書き込むだけの空きがない状態で、まとめてタイトルを入力しようとしました。	録音または再生が終了しで UTOC Writing " の点滅後に、つづきを入力してください。
TOC Reading	CD または MD の TOC 情報を読み込んでいます。	TOC Reading 消灯後に操作してください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へのタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト (保護) がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
UTOC FULL	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにまとめてください。
	タイトルの書き込みまたはグループ編集できるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。または、1 つのグループを解除してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
システム全体に共通	パネル表示が自動的に点灯し、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	表紙
	電源が入っているのに音が出ない。	スピーカーコードを正しく接続していますか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8, 9
	音の位置が定まらない。	スピーカーコードの⊕、⊖を逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8, 9
	左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8, 9
		別売り機器のコードを左右逆に接続していませんか。	別売り機器のコードを正しく接続する。	50
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	
	片側のスピーカーから音が出ない。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	8, 9
	再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。	電源を切り、正しく接続し直し、電源を入れる。	8, 9
FM	ステレオ放送に雑音が入る。	送信所が遠くありませんか。	簡易型アンテナの場合は、FM屋外アンテナを利用してみる。	53
	ステレオ放送で雑音が多く時々音が出なくなる。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。		
	“ STEREO ”が点滅する。	送信所が遠くありませんか。		
		テレビ、ビデオデッキなどの電源が入っていませんか。	テレビ、ビデオデッキの電源を切ってみる。	
AM	雑音、ひずみが多い。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	53
		テレビやパソコンと同時に使用したり、携帯電話の充電を近くでしていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
テレビ	画面が時々消えたり、画面にシマ模様が出る。	アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	簡易アンテナの場合は、専用アンテナに替える。テレビと本機の距離を離す。	
		テレビのアンテナ線が本機に接近していませんか。	テレビのアンテナ線を本機から離す。	
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	7
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
CD	CD を入れても、表示パネルの表示が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り替える。	53
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。	
	特定の個所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	53
	一曲しか録音できない。	1-SONG プレイになっていませんか。	[PLAY MODE] を押して、1-SONG プレイを解除してください。	25

	こんなときは	ここをご確認ください	処理	参照ページ
MD	MD を入れても、自動的に引き込まれない。 MD を入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中の MD に、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	
	再生できない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約 1 時間待ってから使用する。	
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MD の誤消去防止つまみを閉じる。	54
	タイトルが入力できない。			
	MD のタイトルや曲名が出なかったり、表示が途切れたりする。	MD に記録できる文字数（英数記号で最大約 1700 文字。カナは約その半分）を超えていませんか。	文字数の少ないタイトルにつけ直す。	40
	MD を入れても“ TOC Reading ”が点滅したままで、操作ができなくなる。また、この状態で［EJECT ▲］を押しても、MD が出てこない。	MD の TOC 情報読み込み中に異常が発生しました。	① ［POWER ⏻/I］を押す。しばらくするとカチッと音がして、完全に電源が切れます。 ② 電源を入れ、すぐ［EJECT ▲］を押す。MD が出てきます。（出てこないときは、手順①②をくりかえす） ③ MD を取り替える。 異常が再発するときは、販売店にご相談ください。	
	高速録音ができない。	録音を開始した時点から 74 分間待たずに同じ曲を録音しようとしませんでしたか。	74 分待ってから録音する。	29
	ディスクタイトルの表示がおかしい	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行ないませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	36, 40
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッドが汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	55
	録音状態にならない。	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にテープを貼る。	55

MD の制約について

症状	原因
曲数や録音時間が最大ではないのに“ UTOC FULL ”が表示される。	録音時間に関係なく、曲数が最大になると、録音できなくなります。（MD1 枚の最大曲数 254 曲）
	録音のしかたによっては、254 曲以下であっても録音できないことがあります。
ムーブやディバイド機能が使えない。 “ GROUP DATA FULL ”と表示される。	グループ管理をしている MD の UTOC エリアに空きがないために、ムーブやディバイドができません。
コンバイン／ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音／部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4 の各モードが異なる曲間ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り／早戻しすると、音の途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MD の最大録音時間にならない。	MD は、2 秒以下の音声を録音する場合でも、約 2 秒間の領域を使用するため、残り時間より実際に録音できる時間が少なくなります。

各部のなまえ

⑩ などの数字は参照ページです。

本体

各部のなまえ

表示部

リモコン

SLEEP、–AUTO OFF
（おやすみタイマー、オートオフ）
ボタン ⓾ ㊹

⏻（電源）ボタン ⓫

CHARA（文字種類選択）
ボタン ㊶

TITLE（タイトル入力）
ボタン ㊵

1 ～ 0、≥10（数字）
文字入力ボタン ㉔ ㊶

メイン操作部

MD REC MODE
（MD 録音モード選択）
ボタン ㉛

SOUND、THEATER S.
（音質切り換え）ボタン ㊿

VOLUME（音量調整）
ボタン

CLOCK/TIMER
（時計、タイマー表示切り換え）ボタン ⓫ ㊺

◷PLAY/◷REC
（タイマー入／切）ボタン ㊺

ENTER（確定）ボタン ㉖

DISPLAY（表示切り換え）
ボタン ㉑ ㊿

EDIT MODE
（編集モード）ボタン ㉛

DELETE（文字削除）
ボタン ㊶

PLAY MODE
（再生モード）ボタン ⓱ ⓳ ㉕

PROGRAM、–AREA
（予約、エリアバンク）
ボタン ㉔ ㉖

MUTING（消音） ボタン ㊿

⏻ SLEEP – AUTO OFF CLOCK/ TIMER ◷PLAY/ ◷REC
TITLE CHARA ENTER DISPLAY
ア 1 カ ABC 2 サ DEF 3 EDIT MODE
タ GHI 4 ナ JKL 5 ハ MNO 6 SPACE!"# ≥10
マ PQRS 7 ヤ TUV 8 ラ WXYZ 9 DELETE
REW/ ◀◀/V ワヲン゛゜– 0 ▶/FF Λ/▶▶ STOP/ CANCEL ■
EXT-IN MD ▶/II CD ▶/II PLAYMODE
REC ●/II TAPE ◀▶ FM/AM BAND PROGRAM – AREA
MD REC MODE SOUND THEATER S. MUTING
VOLUME – +

必要なとき

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は MD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

58 ～ 59 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	MD ステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM27MD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0102

主な仕様

アンプ部

実用最大出力（両 ch 動作）	：	15 W + 15 W （全高調波ひずみ率 10 %、6 Ω）

FM チューナー部

受信周波数帯域	：	76.0 ～ 90.0 MHz （100 kHz ステップ） TV 1 ch、2 ch、3 ch（音声）
アンテナ端子	：	75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域	：	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

カセットデッキ部

トラック方式	：	4 トラック、2 チャンネル
ヘッド		
録音／再生	：	パーマロイ
消去	：	ダブルギャップフェライト
モーター	：	DC サーボモーター
録音方式	：	AC バイアス 100 kHz
消去方式	：	AC 消去
テープ速度	：	秒速 4.8 cm

CD 部

サンプリング周波数	：	44.1 kHz
量子化	：	16 ビット直線
光源	：	半導体レーザー
波長	：	780 nm
チャンネル数	：	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：	測定限界以下
デジタルフィルター	：	8 fs
DA コンバーター	：	MASH（1 ビット DAC）

MD 部

形式	：	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	：	磁界変調オーバーライト方式
読取方式	：	半導体レーザー（λ =780 nm）による 非接触光学式
サンプリング周波数	：	44.1 kHz
圧縮／伸張方式	：	ATRAC/ATRAC3（MDLP）方式
チャンネル数	：	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：	測定限界以下
録音再生時間（ステレオ）		
80 分 MD 使用	：	80 分（SP） 160 分（LP2） 320 分（LP4）

本体総合

電源	：	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	：	40 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）	：	165.4 × 228 × 315 mm
質量	：	約 4.5 kg

電源スタンバイ時の消費電力　：約 0.65 W

スピーカー部（SB-PM27MD）

形式	：	2 ウェイ 2 スピーカーバスレフ型
ウーハー	：	10 cm コーンタイプ
ツイーター	：	6 cm コーンタイプ
インピーダンス	：	6 Ω
許容入力	：	30 W（Music）
出力音圧レベル	：	81.5 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	：	8 kHz
再生周波数帯域	：	37 Hz～22 kHz（–16 dB） 72 Hz～20 kHz（–10 dB）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）	：	133 × 225.3 × 237 mm
質量	：	約 1.9 kg

注）1　この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2　全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Panasonic®　MD ステレオシステム　SC-PM27MD　取扱説明書

愛情点検　長年ご使用の MD ステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　–	品番	SC-PM27MD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　–	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　AVC ネットワーク事業グループ
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT6568-S
H0402HM0